# 愛國婦人

毎月五日二十日發行
一部三錢五厘　一ヶ月七錢　半年分四拾貳錢　全國無郵送料
廣告料一行六十錢　本號全部業務
東京麹町區（牛ヶ淵公園）　發行所　愛國婦人會
印刷兼發行人　山澤俊夫
編輯人　竹内貞三

## 婦人の副業

東京女子高等師範學校長　中川謙二郎

全國民の半數を占むる日本婦人が現今如何に活動せるかを見るに、農商業に從事する家庭の婦人は其の業務に關して自ら立働くに當り。副業をも相當に務めて居るやうである。然るに工業に屬する方面中にも職工等の家庭の婦人は農商業者の家庭の婦人と比較すれば、副業に從事する人が甚だ少數ではないかと思ふ。

又文武官吏の家庭の如き主人の俸給によりて生計を立てる家庭の婦人は、多く何等生產的の業務を成さず、其働きかたが誠に不充分ではないかと疑はれる。殊に地方に於てこの感が頗る適切に起るのである。

家庭內に於ける婦人が生產事業に從事せざるは一面に於ては、男子の働を削ぎ一面に於ては國家の生產に直接與らざるは國民として不相當の事であると信ずる。

蓋し婦人の副業と云へば、直ちに貧困なる社會にのみ關連するもの丶如く想像し、衣食足る家庭に於ては不必要なる事であり。且又耻づべきものの如くに誤解する人もある。或は『幸に衣食が足るので副業の必要がない』等と自負する人もあるが、副業は何も貧困者に限りてないものでもなく、又耻づべき業務でもない。且つ國家の生產力を助くる爲めに立働くは國民たる者の國家に對する義務であるから、吾人は總ての家庭の婦人に向つて副業に從事せられん事を希望するのである。

畏けれど　皇后陛下が現に年々養蠶を遊ばすのも、一は蠶業獎勵の御思召であらうが、又生產事業が如何に國家に對し大切であるかを示されて居ると思ふ。

然るに相當敎育ある婦人は、兎角非生產的業務に從事する男子を配遇者に求め手內職の如き副業を賤しく感ずる傾向あるが如くに見えるが、これは如何にも嘆ずべき現象と思ふのである。

元より家政を處理し子弟を養育するは婦人の重大なる責務であつて、爲めに煩はさる丶事も烈しくあらうが、物質社會の進歩は家庭に於ける『時』の經濟上に大なる補助をなして居るので、今後の婦人は益々時の餘裕を得る事となるのである。この間の時も亦善用して副業をなし生產的業務に從事したならば、獨り一家庭の爲めのみならず、又國家の大なる幸福と信じて疑はない。

前述の事は吾人が年來の主張であるが今後尙一層婦人の副業に注意を拂ひ、十分の調査を重ね、この希望に副ふやう汎く婦人を導きたいものと思ふのである。

### 御製

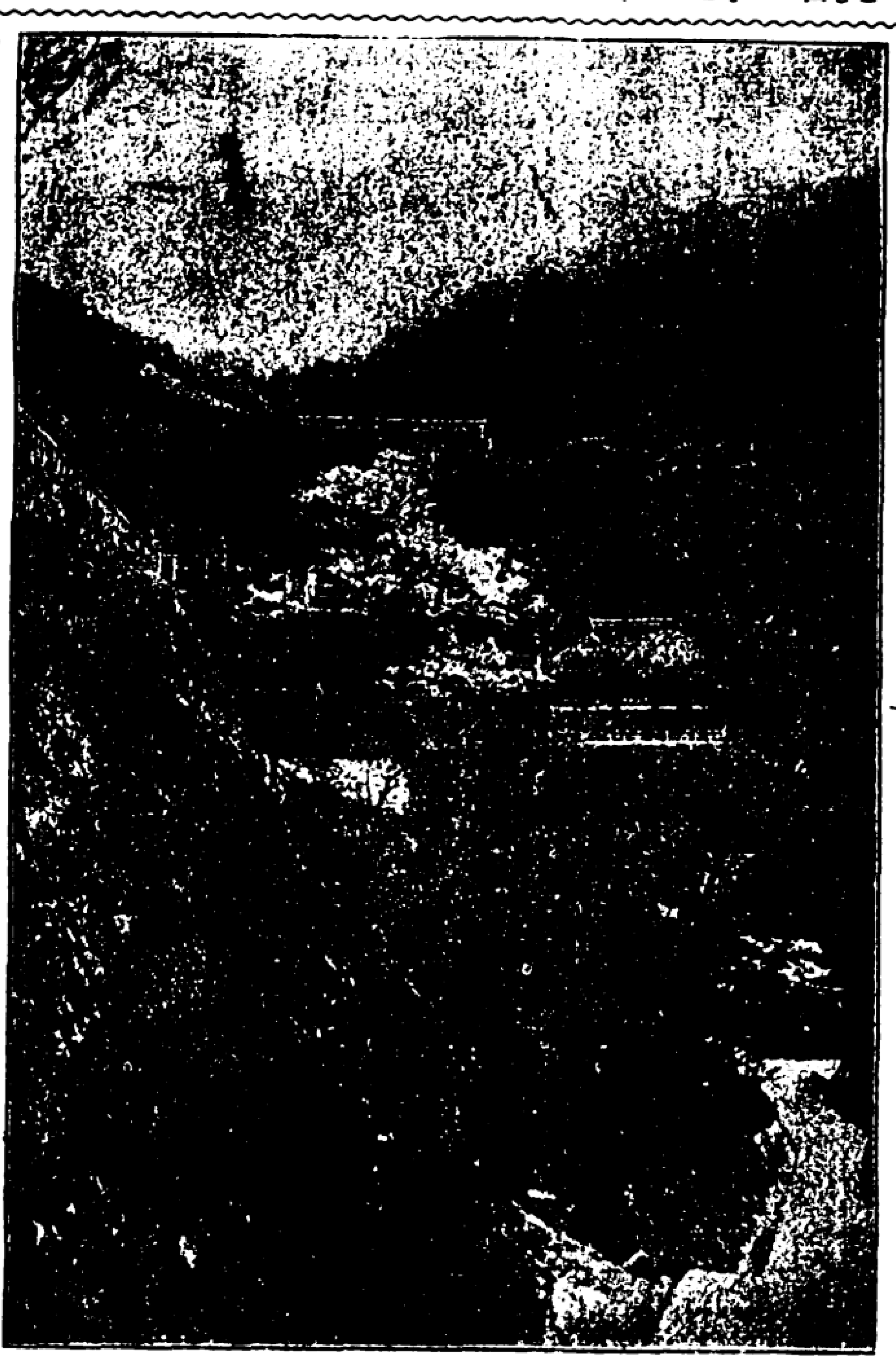
神武天皇の御陵を拜ませ給ふとて

ひろまへにたまぐしとりて畝傍山
たかきみいづを仰ぐ今日かな

## 一人一話

### ◎『寄生木』の女主人公　（三輪田元道氏）

昔の女は强かつた。例へば一度心を夫と許せば親に背かうか社會に離れやうが夫は何處までも夫であつた。淸姫の安珍に於ける、合邦ヶ辻の淺香姫が俊德丸に於ける、いづれも全身是情の觀がある。それに較べると近頃讀書界を風靡する『寄生木』の女主人公篠原夏子を思へ。



彼女は良平を心に許すも其情を決して强く現はさぬ、故に良平をして或は其心操を疑はしめ、煩悶させるではないか、文學は時代の反響である。故に夏子は現代女生の好モデルと云つて可い。

### ◎岡目八目　（新渡戸稲造氏）

近頃流行の羽織に櫛、美しい服裝をしてゾロ〳〵としてゐる。誰人の目にも心配はあるまいさぞかし幸福であらうと思へと、大間違、櫛や羽織で人の苦が被へるものでない、どんな立派なお召縮緬でも痛い腹を包んでゐるやうではだめである。着物はサア、と云ふ時に役に立たぬ、如何な人でも腸をえぐられるやうな悲しい時にこの帶は私に配合かしらと思ふものぢやない。

### ◎淘宮術　（伊澤修二氏夫人）

淘宮術ほど簡單で高尙な信念の修練法は無いと存じます。マア簡單な譯ですね淘はよなげる宮は本體即ち自分ですから自分の心を米を白く磨ぐやうに磨澄す、基督敎のやうに牧師の前で罪を懺悔するので無く、自分の惡い事を考へて有德の人に爲るのです。私は明治二十四年から始めて居りますが此道に入りましてから何れ程心が平和になりましたでせう。

我胸に苦患が有るゆゑ流れ來て
浮世の塵のかゝる川もせ
我胸に苦患がなきゆゑ流れ行き
浮世の塵のかゝる瀨もなし

花の山二町登れば大悲閣　芭蕉

### ◎『この枝を折る可らず』　（三谷民子氏）

とか『この芝生に上るべからず』とか書いた立札が、日本の公園內等にはよく立て丶ありますが、英國や米國の公園等では一つもこの種の立札を見受けませんでした、又佛國の公園には此種の立札が在つたやうに記憶しますが、其國民の公德心の如何が此立札に依つて稍說明せられるではありますまいか。

### ◎巴里の仕立屋　（長崎宮中顧問官夫人）

巴里で有名の仕立屋には澤山なモデル女が居ります。このモデル女は顏よりは體格の完備したものを選んであるさうで瘦方のもあれば肥肉のもありますが何れも立派な體格のもり許りであります。

それで夜の着物といへば、其モデルが夜の着物を着て順々に出てまゐります。それを見て了つた上であの女のがよろしいとか、この女の型が氣に入つたとかいつて註文するのであります。（婦人くらぶ）

### 本號主要目次

△婦人の副業……東京女子高等師範學校長　中川謙二郎
△一人一話……三輪田元道氏　新渡戸稲造氏　伊澤夫人　長崎夫人　三谷女史
△家庭に於ける米國婦人……女子大學敎授　井上秀子
△出產に就ての迷信……理學博士　坪井正五郎
△大關様の鷹狩り……
△料理の効用……農學博士　澤村眞
△學歌評釋（四）……京都大學講師　池邊義象
△鎌倉……謠　子
△婦人の齒は……ドクトル　大原等太郎
△觀光團婦人の氣焔……
△家庭と催眠術……まつさき生
△洗方研究（三）……高山繁
△如何にせば惡しき子供が出來るか……△▲生
△挿花初歩（四）……
△家庭料理講坐（一）……
△春の裝……白牡丹主人談
△講談勝田新左衛門（二）……大島光利
△其他「和歌」「俳句」「日誌」等外に本會記事二頁

●本號十六ページ



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 家庭に於ける米國婦人

女子大學教授　井上秀子

▲教育ある婦人の家庭

米國は女子教育の最も進歩して居る國で、從つて婦人も男子と並んで隨分社會上に立ち働いて居るので御座いますが、しかしそれがために米國の婦人は内を外にして飛び廻つて居るといふやうに考へたならば、それは大變な間違ひで御座います、彼地の教育ある婦人が秩序正しく立派に家庭を治めて、眞實に男子の内助者としての効を奏して居ることはまことに感じ入る外は御座いません、

私は彼地の家庭を見るために、さる教育ある婦人の家庭に泊り込んで居つた事も御座いますが、それは實に立派なもので御座います、その夫人といふのは女子大學の卒業生で、御主人はある教育會の會長をして居られる方で御座いました、收入の程はよくわかり兼ますけれども、大方千弗位の月收かと思ひます、まあ上流とまでは參りますまいけれど、中以上の家庭なので御座いますが、夫人が女中を唯一人使うて立派にお家を治めて入らつしやるお手際には、つくづく感心いたしましたので御座います。

▲秩序正しき家政法

尤も其の夫人は紐育でも家庭を治めることが上手だといふ評判のある方で私も特に見せて頂くことを願つたやうな次第で御座いましたが、夫人は朝お起きになると臺所の事も、掃除の事も、洗濯の事もすべて、或は指圖をなすつたり、或は御自分で手を下して女中と一緒にお働きになるのです、ことに毎日の買物は必ず御自分でお出懸けになることに定めて置かれまして、私も時々お伴をして參つた事が御座いますが、品物の撰擇とか、經濟の點とかに注意を拂はれることも實に行屆いたもので御座います。かういふ風に時間正しく秩序よく、せつせと家事を片付けて入らつしやいますからお部屋はいつも隅から隅まで一糸亂れずといふやうに奇麗に片付いて居りますし臺所の方へ出て見ても一つの廢物でも認めないといふ有樣で御座います、で、家事の整理は午前中にすつかり濟まして了つて、午後の時間は社交のために費はれるのです。社會事業に關する會合に出席なさるとか、訪問をなさるとか、お茶の會に招かれて御出でになるとか、時にはまた講演をきゝに御出懸けになることもありますから、世間の事情にも通じ、知識も増して行き、御主人と共に何んな御相談でもお出來になるといふ譯で御座います。

▲恩威並び行はるゝ母親

お子樣の教育に就いても實に注意の行き屆いたもので。私が其のお家に參りました時はお息子さんが丁度高等學校を卒業してこれから大學に入らうとなさる處でしたが、學校で定規の學業を卒へられたのですから學力はあるのですけれども大學に入るには未だ年が早いからといふので、一まづ實業學校のやうな處に入れて、實際上の事を見習はせるといふ事になさいましたが、其時なども、御兩親連れ立つて學校を見に御出でになり、これならば大丈夫といふ處を見定めて、さて愈々入學の手續をなさるといふ風で御座いますから、お子樣も實に知德圓滿の發達を遂げて入らつしやるのです。そしてお子樣の御兩親に對する態度などもまことに立派なもので、決して父親を重じて母親を輕んずるといふやうなことは御座いません。日本の母親にあつては、動もすると、子供に對して愛のみ行はれて、威は少しも行はれないといふ風で御座いますが、彼地の母親は愛も威も共に行はれて、母親は子供にとつて、たゞならぬ愛の泉であると共に、またたゞならぬ恩師ともなつて居るので御座います。

私は斯樣に教育ある婦人の考ある家の治め方、考ある子供の育て方を目あたりに見て、其影響に思ひ及だ時は非常の感にうたれたので御座いました。

龍宮の鐘のうなりや花曇り　許六

山櫻雪嶺に似しき峯もあらん　其角

# 出產に就ての迷信

理學博士　坪井正五郎

◉ヌーストラリヤの土人の中には、男女相近づくと云ふ事も子供の生れると云ふ事とは、何の關係もない別事と心得て居る者もあるが、斯かる稀なる例を取り除けばどんな者でも子供は兩親の有る事を知つて居る。母と子との間柄は、所謂身二つになると云ふ事實で何の想像を容れる餘地もないが、父は子供の生れる時に如何働きを爲すのか、考へれば此處が考へ所である。

◉アイヌは子供の體は母の賜、心は父の賜と信じて居るので、妻が產褥に在る間は、夫は萬事に附けて行を謹み、愈々分娩と云ふ時には自分の心の一部分が分れ出して子供の體に入ると思ひ、妻は子供の體を生み、夫は子供の心を生むとして居る。同樣の信仰はアメリカ土人の或者の間にも行はれて居る。根據なき迷信とは云ふもの、妻に對する夫の同情、子供の爲めを思ふ父の謹愼、採るべき點が全く無いでもない。

◉佛教信者の中に守り本尊と云ふ事が有るやうに、野蠻人の間にも一人々々尊神とする神を異にする事がある。人種に依つて神と云ふやうな信仰を缺いて居る者も有るが、南洋サモア土人の如きは、神と云ふ者は澤山有つて人々其中のどれかの保護を仰がなければならぬと考へて居る。そこで誰はどの神を選ぶと云ふ事は奈何して決まるかと云ふと、これが出產に關係があるのである。

サモアで女が產氣を催すと、何々樣の御助けを願ひます、何々樣のお助けを願ひますと、多くの神の名を段々に、恐らくは繰り返し繰り返し唱へるのである。其中に子供が生れる、丁度その時に助けを請ふた神が生れた子供の一生の守り神と定まるのである。

◉さて神は無形のもので其儘では目に見えないが、種々の動物に宿ると信じて居るので、夫れ夫れの動物が神の代表者の如くに敬はれるのである。縱令或る神が犬に宿るとすれば其神を守り本尊として居る者は、犬を虐待せず、犬の肉を食はぬと云ふやうに、人々格段な動物を大切にするのです。銘々自分に關係の動物は尊敬するが、他人の守り本尊の宿る動物は一向に構はない。

一般知識の權衡上野蠻社會に於ては斯かる考を起すも無理ならぬ事であるが、開明國に在ても時に之に似た信仰を有する者がないに限らぬ。世を導く地位にある者は其の除去に意を用るが肝要である。

▲太閤樣の櫻狩

一つの風に日本六十餘州、朝鮮八道の櫻を散らした太閤樣の櫻狩と歌はれた豐太閤の一代は全く櫻狩の趣であつた。而して豐太閤の人物、事業を縮圖としたものは彼が催した醍醐の花見ではあるまいか。

醍醐御普請之覺

一、三寶院小破の所なば可加修理也。大破なる所は新義立直し、たゝみ以下も新しく可申付候事。
一、院外五十町四方、三町に一ヶ所宛番所を立、弓鐵砲の者を置、かたく番を沙汰し可申事。
一、伏見より醍醐に至て道の兩邊に埒を結はせ可申事。
一、守々宿札を打候て、破壞の所あらば可致修理之事。
一、振舞等其外萬調掃に可在之事。
一、百姓以下并往還の旅人等不狼藉樣に可在之事

右堅可申付者也

慶長三年戊戌正月廿日　德善院玄以僧正

三月に催すべき花見を正月から目論むで、天下の五奉行に之を奉行させた。愈々三月十五日の豪興となる。天下の諸侯大夫の來て興を助くる事は勿論清華攝家も使者を遣はされる。朝廷からも勅使が來て叡旨を述べられた。

太閤は此間に在つて、妻妾を随へて悠々と花間を逍遙するのであつた。

事終つて彼は三寶院に新たに千五百石を、秀頼は銀二百枚、衣服十襲を、北政所以下もそれぞれの寄附をされた。これで豐太閤の傳記は完結を告げた。醍醐三寶院の花散つて久しからず、其年の櫻落葉をも待たずに彼は此世を去つたのである。

夜嵐や太閤樣の櫻狩　その女



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 料理の効用

農學博士　澤村眞

古の野蠻人は木の實を取り魚類を漁して、之を總て生の儘にて食し煮焚などする事は更らに無かつたが、世が次第に文明に赴くに從つて生物を食する事が減少し、料理をする事となつた。

◎生物の危險　料理は獨り味を宜くする事に頗る効ある計りでなく、又衞生上にも大に有効な事である。肉等には時としては病原を有するものが寄生して居る。即ち豚肉の旋毛虫、魚肉の蛭虫、牡蠣のヂストマ、牛肉の結核病菌の如きで、之れを生の儘に食すれば爲に病を傳染する事がある。又野菜にも十二支腸虫の卵の如きが附着して居つて、生で之れを食へば往々此虫の寄生を受くるの恐れが在る

◎おのづからなる支那人の衞生思想　生で食する事は斯の如き危險の多いものであるが、日本人は比較的生の肉を多く食する習慣があり、西洋人は生野菜を多く食ふ習慣がある。支那人は日本人や西洋人と違つて、生の食物をとらぬ。それ故衞生上の設備が不完全なるに關らず比較的傳染病等が尠いのである。

曾つて上海にコレラ病が流行して、西洋人は多數この病に罹つたが、支那人は割合に之れに罹らなかつた。支那人は隨分不潔な生活をなし、衞生上にも無頓着でありながら却つて病者が少數かつたのは、渠等が生の食物を取らないのと、食器等に沸騰した熱湯で洗ふ習慣があつて自ら殺菌が行はるゝ結果である。之れに反して西洋人はサラダとして生の野菜を食するが、サラダに用ふる野菜は支那人の作りし野菜である。支那人はコレラ病患者の排泄物も之れに消毒を施さず肥料として用ふるので、野菜にはコレラ菌が附着して居る。夫れを西洋人が生にて食するからコレラ病に傳染する事となる。之れに由つても料理をする事が衞生上如何に大切なるものであるかが判明のである。

◎馬鈴薯の中毒、又料理は單に傳染病等を豫防するばかりでなく、食物の中に存在する毒物を分解して無害ならしむる、効もある。例之馬鈴薯の如きはこれにソラニンと云ふ毒物を含む故に、馬の如きは生の馬鈴薯を食すると往々中毒を起す事がある。併しこれを煮て與ふれば決して中毒する事がない。之れ即ちソラニンが熱に依つて其質を變じたからである。

◎熱に依りて腐敗毒を免れる、又食物が少し腐敗しかゝるとカダベリン、ムスカリン、ノイリン、プトレシン等の化合物が出來る。之等を總稱してプトマインと名けて居るが、このプトマインは又有毒で、腐敗しかけた肉を食ふて中毒を起すは之れが爲めである。然るにプトマインも之れに熱を加ふればその毒性を失ふと見えて、腐敗しかけた肉でも煮直して食へば中毒する事が甚だ尠い。近年は腐敗した肉の毒はプトマインに非ず、トキサルブミンと名ける一種の蛋白質であるとの説が在る。トキサルブミンは亦熱を加ふれば直に凝結して其質を變ずるものであるから、此説にして誠ならば益々熱によつて腐敗毒を免るゝ道理である。

◎其他の効、前述の外料理には種々の効がある。料理によつて物を柔軟にし嚙むに力を要せしめぬのも効の一である。又食物を溫にして體溫の損失を償ふこともある。乃ち人間は生きて居る爲めに體溫を生せねばならぬが、體溫は空氣の溫度の低い爲めに常に奪はれつゝあるので之れを償ふ爲めに食物をとり體內に分解して熱を生ずるのである。然るに冷い食をとればその食物を體溫迄熱する必要が在るために、體內にてそれ丈多く分解せねばならぬ。結局始めより溫い物を食すれば、この分解を儉約する事が出來るのである。

この無駄な分解がどれ位あるかと云ふと、人は一日に普通三キログラム（約八百匁）の飲食物をとるが、之を全部水と見做し、食物の溫度を十度と假定して計算すれば、之を體溫までに溫める爲めには八十一キログラムカロリーの熱量を要する。人は生活する爲め一日中に約そ三千キログラムカロリーの熱量を生するのであるが、冷い食物を攝れば、その百分の二七丈の熱量を無益に費さしむる事となるのである

まだ〳〵料理の効は澤山あるが之れ位で擱筆やう。

## ●米國婦人の氣焔

スチルソン博士夫人

去日渡來したる米國觀光團中の肝煎スチルソン博士夫人の談話の一片

妾は二十五年前に一度日本を訪ふた事がある、謂はゞ二昔の夢の迹、横濱には防波堤なく、滊車は唯京濱間にのみ通つて居た、目の當り二十五年後の日本の進步を見るに付け隔世の想があります、此の次來遊せん頃には定めし無線電話や飛行機の天空を占領するを見るでありましやう、

日本の風光には定評がある。而も富士に芙蓉の優美はあるが、未だヒマラヤの雄姿がない、日本の山水は自から美術品的綺麗あるに過ぎぬ、而して日光の美は日本一で、又恐らく馬尼剌と共に東洋の二大勝地でありましやう、

又大阪の織物の緻密は優に里昂の作品を凌ぎます、が惜い事には職工の趣味見識が底い、から、兎角流行後れになりがちのやうであります、是等は海外の實例に就て十分研究せしむる必要が在りましやう、但しダマシーン織の巧緻は日本の特技で推賞するの外はありません

## ●如何にせば惡しき子供が出來るか

△生▲

●試驗に何時でも落第するやうな子を作らんには遊戯中に於ても常に他の方に眼を注がせ一事に熱心ならぬやう仕込めよ

●身體の弱き子を作らんには花見時なりとて平生餘り步かさぬ子を引張り廻し只一日丈け不平均なる運動方法を取るべし

●慈悲心のなき子を作らんには他人の子の居る前にて自分の子にのみ物を與へ子の手より他人には物を贈らさぬやうせよ

●人に嫌はるゝ子を作らんには子供の前にて他人の惡口を遠慮なく云ひ子供が云ふ學校教師の惡口を喜んで聞くやうせよ

●同情心のない子を作るには虫けらを酷い目に遇せるのを一の樂しみのやうに仕立て動物虐待の方法手段を敎へ示すべし

●人に信賴されぬ子を作らんには秘密の話しをなるだけ人に傳へ其秘密の夫れとなく顯はるゝに興味を持つやうさす可し

●不平家を作らんには子になる丈け悲哀なる事柄を聞かせ夫より受けたる不平を其儘子に移し傳へて小言を云ふやうせよ

●浮華を好む子を作らんには富裕にもあらぬ中より算段してお隣りのお花さんと衣裝負けをさせぬやう常々心懸く可き也

### ▲乃木將軍と「寄生木」

「寄生木」と云へば直に乃木將軍を連想させるが最近發刊「毎電」紙上の申上候子は左の如くに申上て居る

▲平素餘り外出されない將軍は過日馬を驅て校門を出でられ候こは將軍が彼の德富蘆花氏の「寄生木」を買ふべく家人に申付けに行かれたのに御座候▲「寄生木」が將軍の机上に置かれ候は夫より三日後の夜にて更に三日の後に將軍は同書を讀了致され候が學監に向ひ「寄生木」は成程面白い感心する處もあるが間違つとる處もあると將軍の評は唯是のみに候ひし

### ▲愛と櫻

「花の陰あかの他人はなかりけり」もし花下に立つの心を以て世に處し、人に接したなら、ば憤懣、怨恨、嫉妬、爭鬪あらゆる人間の罪惡は、其の影を沒しましやう。げに櫻は大なる愛を説くもので　あります、人の口は遠く之に及ばないのではありますまいか。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 松の下風

（築輝畫）

（五）京都大學講師　池邊義象

### 天下泰平

（一）天下泰平長久に、治まる御代の松風、ひなづるはちとせふる、谷のながれに亀あそぶ。

治まれる代のさまをいひて、鶴亀を引出すことは、敢て珍らしきことにはあらず、但し松風より鶴をよびおこし、その齢の千歳といふより、やがて谷にかけてふるき谷のさまをきかせたるは手ぎはなり、

（二）人しれぬ契りは、淺からぬものおもひ、つゝむとすれど紫のいろにいつるぞはかなき、

人知れぬ思ひのふかきが、遂に色にあらはれたることのはかなきを述べたるなり、紫のいろといへるがあやありて、優にきゝなさる、

（三）はかなくも、くまなき月を、いかでうらみし、とにかくにわが袖に、たえぬ涙の夕ぐれ、

二段の末句のはかなきをうけて、こゝにはかなくもとおこしたる、いとおもしろし、月の隈なきは、恨むべきものならぬを、我がおもふままならぬ思ひのために、はかなくも恨みけることよといへるなり、とにかくにといへるにて、さまぐに思ひ亂れて、歎のさまよく聞かれたり、

（四）花の宴の夕ぐれ、朧月夜にひくそで、さだかならぬちぎりこそ、心あさく見えけれ、

花の宴の事は、源氏の朧月夜内侍に言ひよられたることにて、桒路の處にも引かれたり、こゝは前段の夕ぐれよりおこして、かの花の宴の巻なる、朧月夜内侍のことは、さだかならぬ（俗にはつきりせぬ）契にて、心あさき限なりと、引出でゝいへるなり、

（五）住吉のみやところ、かきならす琴のね、神のめぐみにあひそめて、すぎしむかしを語らむ、

この段は須磨明石の巻のこゝろなり、源氏、須磨にて明石入道にいたはられて、やがて入道が娘に契られ、後源氏都にかへられて、更に住吉明神に詣で明石のうへと相見て、いよく御契りかたくなりしとあり、戀人の隔たるが、たまさかに逢ひ逢ひてむかしかたりするたのしきこゝろをいへるなり

（六）秋の山のにしきは、立田姫やおりけむ、しぐれふるたびごとに、いろますぞあやしき、

秋山のもみぢの雨ごとに色ますがあやしとなり、立田姫の織れる錦などいふことは、言ひふるしたれども、雨ごとに色のますといふは、前段住吉詣にていよく契りふかくなれると相應せしめたるがごとし、

この一組は、まづ天下泰平長久に治れる代のめでたきにおこし、人のおもひはかくすともあらはるゝことをいひ、花の宴須磨明石などの巻をとりいだして、春の夜のはかなき契り、住吉の神のめぐみのふかき契りは、秋に在しことをきかせむとて、（明石上との願ほどきの詣では十月なり）時雨ごとに色のますといへる、この對照よく味ひ見るべし、

## ◎鎌倉

訓子

（一）

母さんも咳が除れぬ、春坊も鼻汁を垂らして居ます。學校の先生に訊いたら、今は別に差支へ無いと云はれる、鎌倉行は春坊の歸りを待つて決せられました。

持物は春坊のが鉛筆に手帳一冊。母さんのが歯磨に手拭、櫛、ハンケチ共通のがジーッ丈けでありました。

（二）

室は東の開いた八疊、開け放つた庭前の榎の木に、薄つすりと月がのぼつてゐます。

お寺と聞いて春坊は痛く恐れて居ましたが、大概旅館の眞似事のやうな設備と合客が一室隔てた向うの室に在るのと、お寺に子供が大勢あるのとで、春坊の恐れは何時しか除れて了ひました。

縁側へ出て、おつとりとした肌ざはりの好い空氣に觸れ乍ら、頻りに寫生を仕てゐます。

「出來たかい」

「向うの家だよ」

「横に出たのは何？」

「これはあの木の瘤さ」

木の又に瘤が出來て、其横にお月様が出てゐます。其お月様は瘤よりは余程大きい。

「繪に成つちやゐないぢやないか」

「母さんは馬鹿だね」

頻りにやつてゐる處に夕飯が來ました

（三）

出ないかと言へば、出ないと言ふ、何故出ないかと言へば、暗いからと云ふ、お月様が在るぢやないかと言へば、眼をまん圓にして

「母さん、ヒラリーて何？」

と訊きます。漸々讀めました、初め室を定める時、和尚さんは隣室に居る人がちとヒステリーの氣味だからと注意された、春坊はこれを小耳に聴きはさんで恐れて居たのでした。

「母さん、ヒラリーは人攫いぢやないの？」

「いゝえ、病氣の名だよ」

漸つと安心が行つたらしい、階下の方で子供らが大勢騒ぎ聲がします。降りて行つて一人借りて來ました。

「名は何といふの」

「ちせ」

「ぢや、ちーちやんだね」

ちーちやんも春坊も初めは羞にかんで居ましたが、火廻しの遊びが媒介に成つて何時しか友達になりました。

「今度はお話に仕様」

「ハイ」

「エヽ」

火鉢を眞ん中にして、一番クヂは母さんです。

今度は春坊だ

「うん僕は修身のお話をする……あのう或所に子供が居ました、其子供がお使ひに行きました、犬が出て吠え付きました逃げ出しました、人が來て助けました…」

獨合點で、有仁耶無仁耶に濟んで了ふ今度はちーちやんだ

「ハイ、私し面白いのを仕てよ、或所に馬鹿が居たつて、そしてね、母さんに茶と栗と柿と酢を賣りにやられたつて。そうして、一處に賣るんだと言はれたもんだからホ、、可笑しいわ、あのう、チヤックリカキス、と言つたつて、だからちつとも賣れつこなし、今度は何でも別々に言ふんだと敎はつたから、チヤ、クリ、カキ、ス、と言つたつて、だから、矢つ張り賣れなかつたつて、馬鹿だわね、それから今度は又母さんに好うく敎つて、初めて茶に栗に柿に酢は宜しいかつて、言つて歩いた處がみんな賣れて了つたつて、」

ちーちやんのは纏が好い、さあ今度は春坊だと申すと得意に成つて語りますちーちやんは終へるのを待ち兼ねてゐます、變るぐ幾らでも出ます、賞ると止め度がない。

九時を打つて階下からちーちやんを呼びに來ました、春坊は惜し想でしたが留めませんでした、春坊は八歳、ちーちやんは九歳、ちーちやんは色の白い眼の涼しい可愛い娘です。

# 婦人の歯は

……如何にせば美しくなるか……

ドクトル　大原等太郎氏談

### ▲婦人―甘い物―齲歯

艶陽三月爛熳たる花の折までも待ちませず、多少春光が催して來ると同時に齲歯がそろ〳〵痛み出して來るのは人も我れも經驗ある事でありますが、兎角歯に故障の起り易いのは男子よりも婦人の方に多い樣であります、之れには種々の源因も在りませうけれども、主として女は男よりも甘いものが好きなからで、從て齲歯が多く生ずる樣になるのでありませう、又其爲め自然統計上婦人の方に故障の多い事になるのであります。

### ▲歯は婦人美に大切なもの　妊娠中には何故歯が痛む

一體婦人の容姿の上から云つても歯の美しいと云ふ事は非常に大切な要件で、如何に眉目が美しいに致しても歯並が惡かつたり、黒かつたりしますと折角の美貌も大方は砕かれて仕舞ひ豐頰など丶は申されぬことになります、夫れから又私の處にお來になる患者の中で、よく妊娠の婦人がありますが、あれは餘程面白い現象で妊娠中には凡て母體の歯の養分になるべきものが胎兒の成分に取られて了ひ、且つ其外の臟器にも種々の故障が起つて參り、從つて口中に酸化が行はれる事になり、此の二の源因からして俄に歯が惡くなつて來るのであります、それ故妊娠中の婦人は特に注意して此期間には歯の手入れを忽にしてはなりません。

### ▲齲歯位の位がいけぬ　歯磨粉の使ひ方

凡て歯と云ふのは清潔にして無理な事さへせねば左樣惡くなる筈のものでない夫故平生齲歯位と云つて打棄て置くのは非常な心得違ひで、齲歯は次から次へと傳染して行くものであるからよし齲歯が一本あつても早速手當をせねばなりません、

又三食後は勿論、間食の後でも一々微温湯で口中を淨めると云ふ事は大切なことであります、それから今一つ注意すべきことは歯磨粉の使用で、これは歯の琺瑯質を傷ける事の多いものでありますから、精々注意して良品を撰み、單に横に磨くのみならず、縱にも磨くやうにして居れば歯は自然に光澤を增し艶々しい光彩を帶ぶるやうになります。

### ▲眞珠の樣な歯には　全身の營養も大切

注意すべきことの今一つは全身の營養である、假令如何程口中ばかり注意しても、全身の營養が不良でありますと自然歯にも影響して來ますから、適當の營養分をとり適當な運動をなして健全な身體を有するやうにする事は、誠に大切な事であります、俗にも眞珠の樣な歯と云ひますが香こぼる丶やうな婦人の唇から眞白き眞珠の樣に美しい歯がほの見えて片頰笑まる丶艶さは、眞に床しいものであります、それ故歯の養生と云ふのは要するに此の天賦の美しいものを粗末にしないやうにすればそれで充分でありますが別段の藥は用ゐずとも、酸ばい物を飲食した後で直ぐ温湯か又は重曹を一二匙加へた清水で口中を清めて置く事に注意さへ怠らねば好しいのであります。

### ▲衛生顧問▼

▲産科婦人科　濱田病院醫員醫學士　小畑惟清先生

▲小兒科　帝國大學病院小兒科醫員醫學士　齋藤宗石先生

▲歯科　米國カリホルニヤ歯科大學卒業ドクトル　大原等太郎先生

▲御質問は葉書でも封書でもかまひません、唯表に「愛國婦人發行所衛生顧問係御中」と御書き被下い、

▲御答は到着順を以て成るべく速に此の紙上で發表致します。

### ▲東京だより

今は彼岸櫻のちらりほらりと咲き初めたるばかりなれども早や旬日を出でず櫻花爛漫の光景は見せられんとし候、此間諸學校は概ね免狀式を了へ新學期の準備に忙はしく上野公園は例年の如く何々畜會、何々品評會等の催しに景氣宜く、こ丶は元より淺草や、九段坂上などには人力車に小旗押し立てたる地方よりの觀光團、氣も心も長閑さうに見物し廻られるのか特に目立ちて見受けられ候、

「四方より花吹き入れて鳰の湖」邊の大觀は見れば見らず、東都に於ける櫻の名所としては、先づ都鳥飛ぶ墨堤の一目千本の光景より、上野、淺草、芝、日比谷、清水谷、靖國社其他の公園の櫻、赤坂見附より牛込見附に至る御濠の櫻、江戸川べりの櫻、御茶の水橋附近の櫻など、滿都之れ花と申しても割引の要らぬ位、又其の花の咲いた頃に二百萬市民が如何に熱狂致すや等の模樣は所詮拙き筆には及び申さず候、

そは兎も角もと致し「君が代の大飯食ふて櫻かな」誠に有り難きは大飯食ふて櫻の見られる境涯なりこれ一に聖代の餘澤に外ならず、破具

プレスト洗粉

### 家庭實用　料理講坐

某女史談

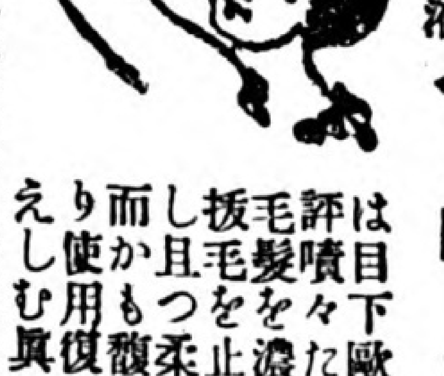
#### ▲豆腐の料理

▲いり出し豆腐　長さ一寸巾五分程の片々に切り、葛を摺りて裏ごしを透した粉の中に入れて葛粉を附け、油にて揚げ、生姜醬油又は芥子醬油で食べます。

▲はんぺん豆腐　豆腐を能く絞つて摺鉢に入れ、夫れと等分に山芋をおろし込み少量の砂糖を加へてよく摺り合せ、程よい大きさにとつて美濃紙で包み、是れを茹で、煮へて浮上るのを待つて掬ひとり紙を取り去つて味噌か又は醬油で食べる

▲松かさ豆腐　絞り豆腐一丁玉子の白味五個分、砂糖小量を摺鉢でよく摺合せ次に海苔を水に浸し直に引きあげて水氣を拭ひ是を蒸籠の下敷とし此の上に前に摺合せた豆腐を厚さ三四分程に塗りつけ蒸しあげて後味醬油にて出します。

▲今川橋　松屋呉服店の賣出し　同店にては四月一日より花の春衣陳列會を開催し例の如く春衣は勿論よせぎれ見切反物及び五月人形等種々取揃へ陳列販賣をなす由殊に室内パノラマ光景中時樣の盛粧せる數多の美人少女が嬉々として遊戯せるの趣向は美觀なりと



頭髪の薄き、惡しき、拔毛に苦しむ方よ

毛髪洗滌液　ペトロール、ハーン

は目下歐米到る處に高評嘖々たるものにしてフケ拔毛を止め、毛髪を濃厚にし、光澤を增し且つ柔軟ならしむ、而かも馥郁たる香氣あり使用後永く快感を覺えしむ眞に神妙なる逸物なり

代價　小瓶一圓廿五錢　大瓶二圓（各地有名なる化粧品店にあり）

橫濱市山下町七十番　エー、ハイム商會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 家庭と催眠術

▲催眠術は何れの家庭にも行はれてゐます

近頃催眠術々々と、大層喧しく云ひ囃しますが、催眠術と云つて、別に不思議な魔術や、妖術を行ふ譯ではなく、一種の心理作用を起させるのであります。そして其心理作用は、誰にも多小起るもので、格別術者が致すやうな、方法は取らなく共、何時の間にか、催眠術に掛つて居る事があるのです、其れで昔から此心の作用を自ら人は承知して居りまして、子供が怪俄をした時などに「チャンプイ／＼御用の御寶」など、稱へて、痛を去つてやつたりします。之は小供が催眠術に掛たので、其呪を云へば、必ず痛が去るものと、信じて居りまして、自然に恢復のであります。大人でも、側で酸い話などをしますと、何も喰べなくとも、急に唾液を分泌してくるのは、即ち催眠的の心の作用なのであります、或は戯れに紙捻などを、衿頸などに、觸れて、毛蟲だなど、威嚇かされると、忽ち其場所の筋肉が釐れ上る事などがありますのも、皆同じ作用であります。

▲催眠術の目的は一種の信仰心を起させるのであり升

斯樣に實際其事がなくとも、左樣だと深く思へば、眞の物が及ぼしたと同じ結果が現はれるのでありますから、怪しい神佛を信心して、御利益があるものと思ひ込んで、腐たお水でも頂戴しますと、病氣が治ると一般な心理作用であり升。夫で人々の有て居る此心理作用を研究しまして、或方法を施して、此信仰心を、極めて深く起させて、病を治したり、苦痛を除いたり、惡癖を矯したりするのが、催眠術なのでございます。

▲催眠術を行ふ方法

催眠術をかけると云ふのは前申す通り深い信仰心を起させる爲なので、其仕方は、被術者を樂な姿勢にさせて、目を塞がせて、外界の刺戟を成可く避けさせて術者は徐ろに體を撫で擦て、快い心持になつた、何も考へなくなつたと、繰返々々云ふと、被術者は、其氣に成つて、不知不識快い心持になり、何も考へない狀態に入るのであります、即虚心平氣に成つて仕舞ふ。之を催眠狀態に入つたと申します。之は眠るのではありません。倩此狀態に入ると、術者の云ふ事が、何でも深く心に浸み込み其通り信じて仕舞ふのでありまして、覺醒て後も、其効驗が現はれるのであります。併し此催眠狀態が深いと淺いとがありますので、治療の目的に由て深淺の狀態を異にしますから、催眠狀態に入つたと同時に術者は、それを試めす爲に種々な暗示をさせるのであります。

▲目が明けぬ一枚の紙が持てぬ

催眠狀態に入つた時、術者は手を擧げさせたり、或は握らせて、握つた手はもう開かれぬと云てみたり、或は汝の目はもう何うしても、開く事は出來ませぬと暗示して見升。被術者が其云ふ通りになりますれば、催眠狀態に入つたと云ふ事が確かに分りますので、其試めす方法に由て又深淺の度が分るので有升、或は普通の水を與へて大變甘い水だと術者が云ますと、被術者は其通感じて甘さうに呑んだり、半紙一枚を與へて大變重いものだ、到底も持ち上る事は出來ないと云ひますと、さも重さうに、持つて居る手が漸々支へ切れぬ樣に下つて來したりします。或は又多くの白紙の中の一枚に、何々と記してあると云つて、被術者に只の白紙を見せて置いて、其白紙を密と他の白紙と一所に交せて、再び今の文字の書してあるのを、撰り出せと申ますと、必元の白紙を正しく取出します實に不思議と感ぜらるゝ事が澤山有升。倩斯樣に催眠狀態に入た時に、術者は、被術者に暗示を與へるのです。例へば、汝の頭痛はもう全然治たとか、或は汝の足痛は全然去たとか、或は物覺が能くなつたとか云ふのであります。さうすれば被術者は深く信じて、左樣思ふのですから、覺醒して後術者の云ふ通眞に其結果が現はれて、治てしまひ升。

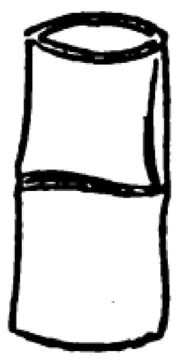
▲主婦と催眠術

催眠術は右述べた樣な譯でありますから私は主婦が、巧に、家庭に應用したらば、大層益のある事が多いであらうと思ひ升。無論、術は施すに及ばないが、此心理作用を了解して、適宜に家人に用ひたらよいと思ひます。例へば、嫌な食物を好にさせる事も出來升、其れは非常に美味とか今日のは特別に甘いとか、云ふて、さも甘さうに、他の者が食したなら、嫌の者も、其程甘いものかと云ふ氣になり、次には食べて見度くなり、其中には食べ習ふ樣になるので、何でも、人の云ふ事に、多少心を傾けると云ふ其作用を捉へるので有ます或は寒がつて意氣地のない子を寒くないと思はせたり、朝寐する人を朝何時に目が覺める、必ず覺めると、自ら深く信じさせて、追々矯正させたり、怠ける子に勉强の習慣をつけたり、或は又召使に十分に己れを信用させる樣にしたり、或は家人の病氣の時先づ服すべき藥或は醫師に信用を置かせたりするなど、此辨へがあると、否とでは、大に違ひませう。況してや、主人の心を最も能く知り、又最も能く動かし得る地位に立てる主婦は、必ず此心得があれば、主人の惡癖などは、必ず徐ろに、苦なしに不知不識の間に、矯正して行く事が出來るでありませう。

# ◎挿花初步

▲花器の事

話の順序を變更しまして、爰に一寸花器の事を述べて置きましやう、但し花器には種々と數も多くありますから、こゝでは其一例だけを圖して示す事に致します。先づ竹筒の部から初めまするど、

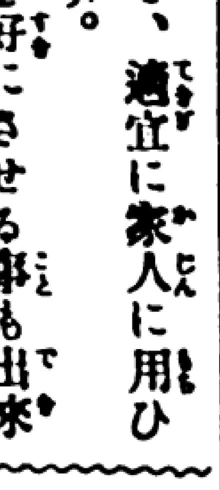


◎ズンド

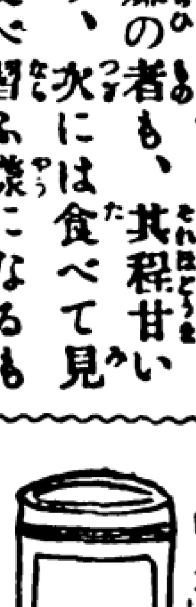
眞中に節を置きて其丈一尺内外、太さ直徑三寸五分から四寸位とします、但し丈は太さによつて見恰好よく計らはねばなりません、又竹の根にて造るには節の數は二三ケ所あるも差支ありません。

◎立[illegible]

ズンドに同じ寸法でありますが、上を淺くして足を長く致します、足は刳ぬぎて兩面とします。

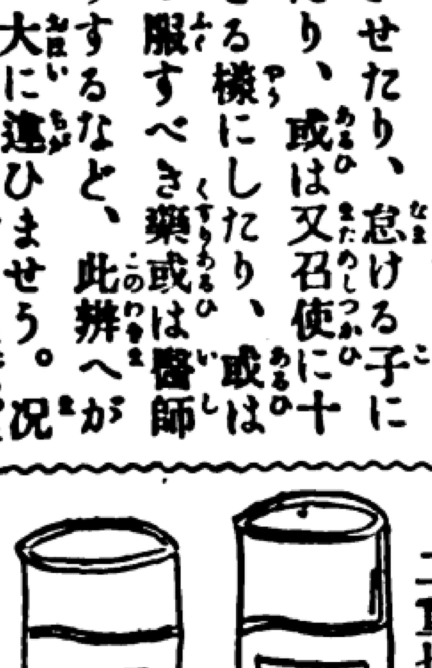


◎鶴首



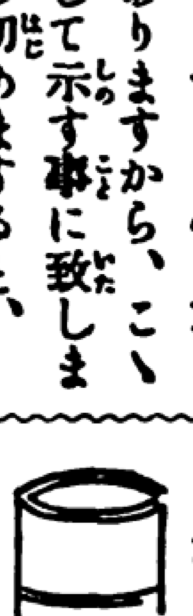
中央を兩窓にして刳ぬぎ上に節を殘したのです、寸法は竹の太さによりますけれども先づ一尺五六寸から二尺までと致します、これも竹の根にて造る時には節の數を增します。

◎二重切



二重切は上下に花を活る器であります眞中は兩窓にして刳ぬぎ、上は節より三寸斗り殘し、下は窓の縁から二三寸の所に節をおきます、但しこれも竹の根で造るときには下の方節多き故よき程に節をぬぎます、寸法は之れも竹の太さによるけれども、大低二尺より二尺四五寸迄と致します、又竹の根でない處を用ゐます時は圖の如くに三ケ所位の節を用ゐてよろしいのであります。

◎片窓二重



片窓は前の方を刳ぬぎて二重の形を造り、後は圖の如くに殘りたるものであります、此の形は近頃池坊流にも用ふる事となつて居ります、方法は兩窓に同じ。

▲裁縫講義賣切れ

發賣中の普通裁縫講義は最早賣切れになりましたから諸姉の御注文に遺憾ながら應ぜられません、この段諸姉へ申上ます。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 洗方研究

（三）高山繁氏述

## ▲石鹼洗濯法圖解

嚮に（百九十五號掲載）ハンカチーフの洗方の下に石鹼洗濯の方法を述べて置きましたが、未だあれ丈では意の盡さゞる處がありますから、左に圖解を致して重ねて説明する事と致します。

又同號に鏝を懸けた後で垢を取る爲めに竹の鏝に糊を付けて柔く磨ります、とあるのは、糊を付けて鏝を懸ける時に鏝が奇麗であれば左右、往々鏝の垢が附くものでありますから、其の時には鏝に充分ネバキ糊を巻き付けて其の部分を柔く磨ると、糊は鼠色になつてとれるものであると云ふ間違であります

下の圖中

(1)煮釜、用水四升位、粉末石鹼十匁、品物百匁を入れ、十五分乃至二十分間煮る。

(2)釜の湯を其儘に盥に明け揉み洗ふ。

(3)清水にて水の澄み切るまで充分に洗ふ

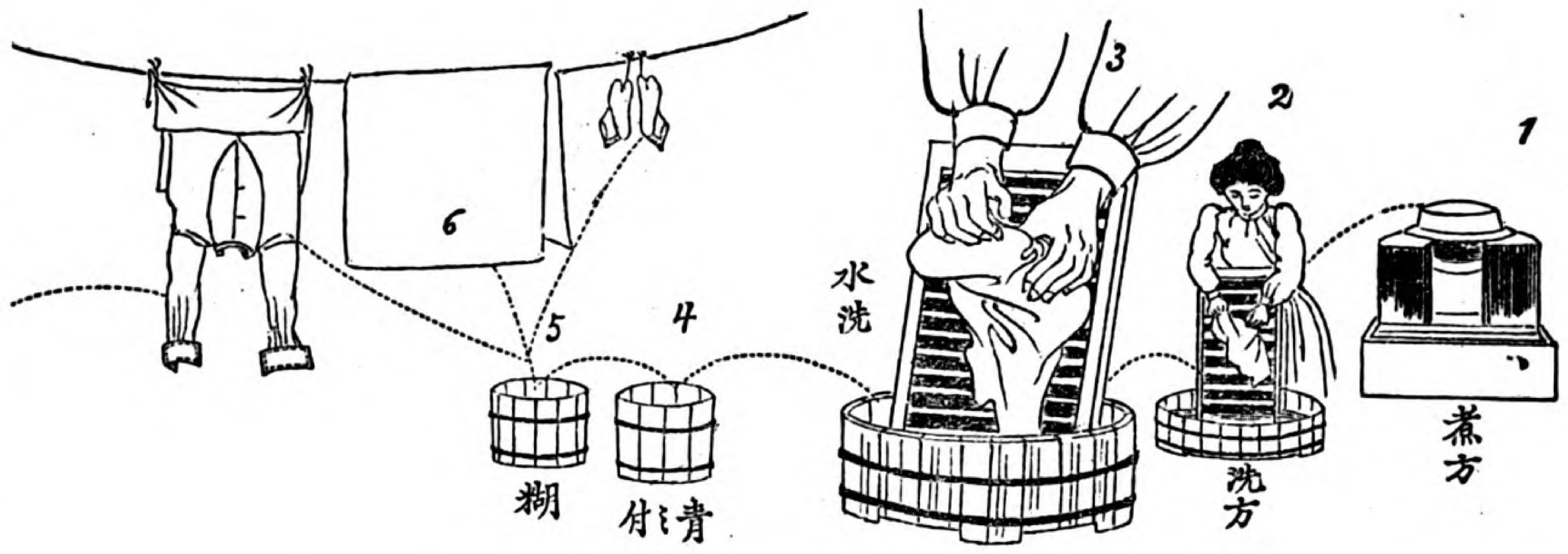
(4)ベレンス一分を水一斗の中に絹切れに包みて揉み出したるもの、こゝにて青味を附ける。

(5)銀精布三匁乃至四匁を湯五合にて練り總液二升位となしこれに品物を浸す。

(6)棹の垢等附着せざるやう注意して乾かす。

▼高山氏の講習　帝國教育會主催者となり來る四月十四日より同會内にて約十五日間洗方、染拔（鐵、醬油、酒、果物、油墨、インキ等各種）を主とし其他絞り方又は絹木綿の裏地色揚げ等の講習を爲す由　講習料二圓、申込前日迄。

▼高山氏の著書　又同氏は洽く自家研究の洗方染方等を普及せしめ家庭の便宜に供せん爲め頃日來熱心著書に從事せられしが近々發賣の運に至るべしと云ふ。




## 春の装

▼大西白牡丹主人談

◉頭髪の装、頭髪では束髪が下火になつたとは申しますものゝ、先づ束髪六分に日本髪四分、まだ〳〵何うしても束髪が勢力を占めて居ります。殊に花の頃から夏秋に掛けましては束髪にお結びになる方が多くなります。唯今流行の頭髪の道具と申しますと、先づ

◉彌生形の大一番の丸髷に、赤いてがら●●●でもお懸け遊ばす若奥様向と致しましては、黒鼈甲臺に金蒔繪の櫛笄（十五六圓以上廿五圓）が何時もすたらず流行致しますこれは極上品向で、形は操形ナニ値段が高いと仰せですか？、夫れでは黒鼈甲張りに遊ばせ、之れも本物と少しも違はありませんが、値段は四五圓からあります。

◉意氣向には都形、丸味が付いて割貝入り、模様は菊、竹、かたばみ等の極淡泊りしたところ、之れは年増の方にも向きます（八九圓乃至十二三圓）又新橋形と云ふのもあります。少々贅澤向には矢張り黒甲臺に金銀と貝との象嵌入り、之れは二十圓以上お好次第。

◉根掛けは珊瑚でも、ないと云ふ御婦人には翡翠が大流行であります（七八圓から百圓位）最も大さに依り品の質に依つて大分値段に相異があります。

◉簪、も之れに連れまして十八金足の翡翠で十七八圓、銀臺に金鍍銀で六七圓位でありますが。

◉斬新なのは、翡翠の平打で、竹や菊等の模様を透し彫りに致したもの、これは極々最新の流行で、これからと云ふところ御覧の通り淡泊として至極上品なものであります。

◉次は束髪、ハイ櫛ですか、御承知の如く櫛は三枚ものが頓とすたりまして今は二枚櫛で、セルロイド臺の割貝入り先づ女學生さん向きで二圓から五圓迄、黒鼈甲張が七八圓本物は十二三圓から二十圓位であります。模様は矢ッ張り淡泊りしたもの、

◉横ざし、は先づこれもかたばみすかし銀三四圓金臺で十七八圓）洋銀臺のは三四十錢からありますが、眞珠入りのが大流行で（二十五六圓）極贅澤向にはダイヤ入りが流行ります。

◉最新流行の中ざし、申し後れましたが最新流行の中ざしは金銀の透し彫の雨天です、これは古く流行して一時頓と廢つたものでありますが、近頃亦流行りだしました、いや流行出しかゝつて居ります淡泊りして極上品なものであります、値段は二十金のもので十七八圓から二十圓位であります。

## ▽懸賞募集△

▲和歌　佐々木信綱先生選

天、賞品、宮内省御歌所御校、兩陛下の御製を收めたる（日月帖）一部

地、賞品　繪葉書ブック一册

人、賞品　繪葉書ブック一册

▲俳句　鳴雪先生選

天、賞品　上等寫眞ブック一册

地、人、の賞品は和歌と同じ

選了の和歌俳句は九頁に掲載しました

▲懸賞和歌兼題

菜の花…四月五日締切

牡丹…四月廿日締切

初夏…五月五日締切

▲懸賞和歌兼題

茶摘…四月廿日締切

日永（永き日、遲き日）五月五日締切

▲兼題以外はしばらく中止す

## ◉花嫁の試驗

呈　高等女學校卒業生諸姉

目出度き御卒業を祝し併せて學校の試驗よりも更らに六ケ敷き花嫁の試驗が諸姉の御目前に迫つて居る事を警告致します諸姉は定めてお嫌やでせうけれども是ばかりは到底もお逃げになる事の出來ない最後の試驗であります。それとも學校を優等で御卒業になつたからとて花嫁の試驗は劣等でも好い、落第しても構はぬと思召すでせうかまさか。

### ◎試驗準備

まさか諸姉は女子獨身論者でも又は社會主義者とか女壯士とかを御氣取り遊すでも有ますまい、して見ると昨日まで學校で御勉強になつた樣に今日からは早速、花嫁の試驗の御準備が御大切かと存じまして茲に御卒業御悦びを兼ね其御準備に就て少しく申上げたいと存ます。

### ◎速成と本科

諺に、玉も磨かざれば光なしと、申します通り天性お美い方でも皮膚の營養と化粧品の選擇に御注意遊ばさるゝ事が最も肝腎で。間にはお化粧と云へば何でも白粉を塗りさへすれば可いやうにお考への方もありますけれども、左樣な速成主義では玉の光りは輝くものでありません彼の自然の花の生き〳〵として麗しき光澤を發輝するには本科修業でなくては可けません、又花嫁の御試驗も滿足の御通過は望まれません。

### ◎合格疑ひなし

されば先づ生理的に皮膚の營養を能くするには乳白化粧水レートに限るので有ます、此レートは御手水の時とか御入浴後とかに少量づゝお使用になれば可いので特にレートはおつけになつても少しも目に立たずボーッとした櫻色の光澤が出ますので夫が自然と皮膚の營養と爲つて肌理も濃かになり即ち何時何時、花嫁の試驗に御逢ひになつても御合格疑ひなしであります。是れ理想的化粧品としてレイトのレートたる特長であります。

### ◎玉椿の千代かけて

猶ほ終りに臨み重ねて諸姉の御卒業を祝すると與に更らに一層御目度度き御良縁の一日も速かならん事を祈り併せて花嫁の試驗御準備として一度びレートの御試用あらんことを玉椿の千代かけて萬望致します。

乳白水化粧　レート發賣元　平尾贊平謹白

ふけとり香水
花たちばな
三個箱入一圓八十錢

高等御化粧料
オイデルミン
三個箱入七十五錢

本舗　東京市新橋出雲町角（電話新橋三二一四番）　福原資生堂




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 講談

# 赤穗義士ノ内 勝田新左衞門

大島光利口演

### 第一席の二

勝公儀直參の大竹氏が掛替なき一人の愛娘を拙者に賜はると云ふなら如何にも頂戴致さう、御奉公大事と相勤め居るが妻なくては家事の取締もつかず、親の三年忌も濟み居れば、最早誰に憚る處もなし、何分宜しく、と色よき返事に彌兵衞は念を押して彌「イヤ夫にて拙者も口を利たる甲斐もある、滿足に存ずる、去りながら生涯連れ添ふ妻なれば、一應見合を爲られては如何、勝田片頰に笑を含みて重げなる口調にて勝「ハイ、御心付有難けれど器量勝れて心美しければ、才色兩全の婦人なるが、御老體の御話によつては人普通の婦人と見へますが、彌「イヤ十人並以上の容貌だ勝「左樣で御座るか左すれば見合は好みません、假令親の見合は濟みましても、拙者凡夫の悲さ胸中三寸を見徹す力が御座らぬ故只此の儘にて緣組仕りたいと云はれて彌兵衞は勝田の手を取り彌「年若ながら能く云はれた、心の善惡は捨置顏の醜美を撰むが普通然るに心の見合は叶はぬと能も申された、貴殿が妻と致された后、家風其他を呑込めば敢て差支へは御座るまい、至極結構の良緣なり、顏の醜美は目下習慣の付間、辛抱さへすれば美き心にて遂に醜も美に見えるもの、我々の如き老人になつて能く味合は判る、貴殿の考へ晚年の我々を凌ぐと悅び、早速大竹に通ずる八十兵衞も喜んで娘に申し聞かせる娘の花は案外の思ひして婚取り家附の身を以て他家へ嫁付と云ふ事は今迄知らざりし、突然の父の話し其頃の習慣とて

女は三界に家無し父の言葉にいなみがたく天晴勝れし大丈夫とは人の噂に聞しのみ終に勝田家へ緣付ました、連添て見ると萬物事內端にして言葉數少く妻を愛して朝事親切、實に我身には過たる良人よと夕恭ふて仕へれば、勝田は又愛して之を連添ふ、此の容子を聞と十兵衞は天へも昇る心地にて下谷御徒町よりはる／＼と暇ある每に鐵砲洲の邸へ來たり十「娘や勝田は何うしたか花「ハイ御殿へ御勤めに出ました十「左うか、何しろ二人共達者で芽出度夫に付けても其方の知る如く頑丈のやうでも拙者も老人、取る年波ぢや、早く初孫の顏も見たいが、未だ酢物を好むやうな氣はせぬか、云はれて花女は茜さす顏に紅葉を散しつゝ、花「ハイ別に酢物は好みません十「ハテ困つたナ何うじや酒舖の丁稚に分付て置ては每晚一合づゝも持藥に飲で見ては何うじやと申しましたは宛然角兵衞獅子でも製造するやうな只娘の懷胎するを樂む內に、花待得たる甲斐ありて嬉や娘は懷妊の印し、之を聞たる時の十兵衞は、婿の家へ詰きりにて、扇を開て打煽ぎ十「イヤ婿殿御手柄／＼、御身は眞影流の劍道に奧儀を極め居とは聞たるが、槍先も達者と見える、娘の懷胎は芽出度、コレ娘懷妊なした腹の兒は女か男か花「初產の事故に其所は判りません十「イヤ／＼男の拙者が知らぬ筈はないが、他人の話

で聞置た、左りぱらみは男だと云ふが、何うだへ花「ハイ然う被仰れば何だか眞中に憑ふあるやうです十「夫は困つたぞ待／＼眞中では男でなく女でなく白人でも出來はせぬかと云ひつゝ月の滿るを竢受居ます、時に元祿の七年十一月の四日產聲高く玉のやうな男子出生いたしました、新左衞門喜のあまり舅と相談なし產婦の肥立もよし其上命名せんと協議いたしました、封建時代の習慣として想像には太郎次男は次郎三郎四郎五郎十番目を十郎、十一番目を餘一と云ふ、那須の與市眞田の與市淺利の與市等は總て十一男、近年の水戶烈公の廿二男十五女の內十一番目を與市丸樣と申し野州喜連川足利左馬頭の御養子となりしは普く人の知る處である新左衞門は自分の新の字を取て、此の子を新太郎と名付る、至つて壯健です、十兵衞孫を抱き上げ面色靑ざめて床の內に居る娘の傍へ連れ來り十「娘俺は年を取たせいか早く孫を大きくして見たい、モー是れ一月を經が、割合に小さい樣だ、花「何うも爲方がないでは御座いませんか、未だ生て間も御座いません故、左う急には育ますまい、十「イヤ／＼骨の堅まらぬ內なら何うでもなるだらふ、何うだ吹竹で尻の穴から吹て見たら宜ろふ、思はず娘は笑ひ出し、花「阿爺さん、飴細工では御座いません、夫では息がつけません、十「夫も左うじや、アー待と云ふのは永いものじや、早く大きくなれよ、立ば步めと申しまする內に、新太郎は壯健に成長致し、腕白盛りの七歲の時、淺野內匠頭殿殿中に於て吉良上野介に刄傷、是によつて五萬三千石改易播州赤穗城召上げられ、家中の狼狽名狀すべからず、此時に大竹十兵衞は早馬にて築地に馳付け、婿の勝田新左衞門と協議を遂げる、簞笥長持鎧櫃一切の諸道具荷造り爲て小舟に積み、水門より漕出し大川を溯て神田川に入り、和泉橋の袂へ此の舟を着け、車力を雇て大八車に荷を積込み、下谷御徒士町に引取つたる其手早さ、流石に勝田を見出せし大竹十兵衞、偖て是から新左衞門舅並に妻に別れ赤穗城に乘込むと云ふ、次回に委しく申上げます。

**▲富山支部の分區表彰**

本會富山支部通信員の通知に依れば同支部內成績優良なる左の九分區に對し最近銀杯一個を贈り之を表彰したる由

上新川郡太田村　中新川郡大森村　下新川郡片貝谷村　同郡生地町　婦負郡千里村　射水郡伏木町　氷見郡飯田村　東礪波郡城端町　西礪波郡福光町

## 子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥服應用である、爲に內服藥の必要なる症狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必要に內服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく十數種の加減內服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將球を使用すべき、諸症を同病患者に告白す、幸ひに自己の症狀考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足な結果を得べし尙詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舖津村順天堂へ申込まれよ

●中將湯は婦人病一切の內服藥にて中將球は子宮內膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮糜爛、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時疼痛、痳毒性子宮病等に特效あり殊に良人の痳疾に罹り居る時は痳毒菌の爲め心付かざる內に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙症と流產、子宮內膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝用なり定價百二十個五圓、四十五個二圓、二十個一圓、九個五十錢、三個二十錢、本舖は東京日本橋四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●次取全國各藥店




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

天　東京馬喰町　正　香子
かゝる折浦島か子や船出せし海原霞む春のあけほの

地　三河田原町　山田　經子
島の灯の三つ四つ見えて海原や墨繪のことく霞みてくれぬ

人　福島縣柳津村　爲田よしの子
畫師のせて小島へわたる舟人にことつてゝやる文と礒菜と

秀逸

いそへには小舟も見えす樂しけにかひひろふらし子等の遊へる　京都　白百合子
白きとり遠くめぐりてなぎさうつ波しつかなる春の海原　本所　武田きん子
乙姫の戀の使か春の海霞める中を白帆一つ來る　岩代　長谷川よしの子
鯨よる熊野の浦のしほけふりのとかに霞む春のあけほの　山口　末田竹子
沖遠く霞むひまより舟歌のもれて長閑けき春の海原　青森　大橋八佐子
立ちならふ磯の松のみほの見えて海原遠くかすみけるかな　横濱　後閑らく子
行船の烟の末も棚引てさなからかすむ春の海原　芝　土師利根子
はてもなくかきりもつきぬうな原や春もくまなくたちわたり鳧　岐阜　西脇あい子

佳作

甲

わかのれる舟の烟の末とほくこしかたかすむ春の海原　岩代　西山佐保子
わたの原春の霞を汲む中に花も香りも流れ來にけり　備後　世羅龜子
そこふかき海にも春やいたるらむのとけくかすむ沖つ白浪　神奈川　足立原とく子
眞帆片帆霞の中に續くなり大海原の春ののとけさ　青森　三上八重子
うな原もかすみてけさは白妙の波の花さく春となりけり　大垣町　卯井てい子
長閑なる波の花貝櫻かひひろふ干かたに春風ぞふく　下野　田村かす子
春の海波にうつれる夕映の霞うるはしく日はくれにけり　芝　小山秀蔭子
朝なきにこき行く舟もうちかすみかいの音のみもる海原　青森　大橋のぶ子
うなはらや沖のかもめのこゑはかりつゝみかれてもたつかすみ哉　山口　末田貞節子
ほの〳〵と明け行く春の海原にかすみかくれのあまのつり舟　青森　大橋かれ子

乙

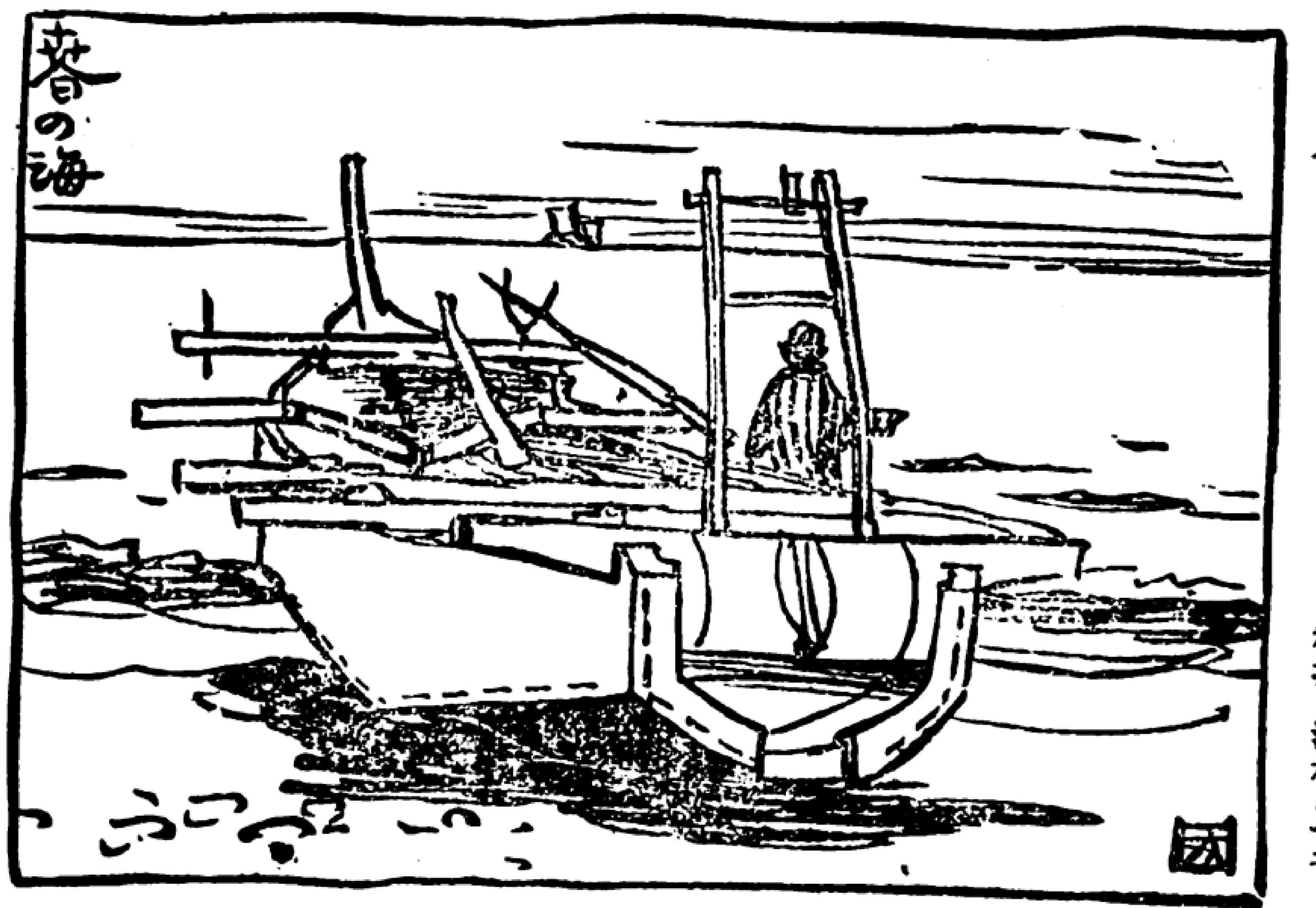
濃藍の色あざやかな春海に海士の釣舟島めくり行く　福岡　小林秀野子
よき程に岸の柳のいろそめて景色そへたり春の海原　神奈川　森田田鶴子
大そらもうら〳〵に見えて難波潟なみに花まく春のあけほの　岐阜　加納ひで子
往き來するふねもかすみにうすくこくかすめる春の海ののとけさ　栃木　野村なか子
風なきて白帆たれたる春の海舟人れふりかもめたゝよふ　石卷　吉田とき子
流れ藻に海月そ浮ける春の海孤島の朝餉烟り賑ふ　淺草　福原馨子
島山の花はかすみてみえれとも浪は靜けき春の海原　横濱　鈴木つま子
しつかなる青海原にすゝむふね白帆にはるのひかりなうけて　函館　てる子
うら〳〵と霞むかなたに眞帆片帆見えがくれする春のうなばら　岡山　森島古野子
靜かなる波間にうかぶ眞帆片帆春の海原にぎはしきかな　羽後　りん子
住のえの松の春風ふき落ちて檜に波の花は見えつゝ　長野　塚田忠子
みやこ生ひの友をさそひてしほひかり花見るよりもたのしかりけり　佐賀　小林龜子
島山は見えつかくれつまほかたほ波もしつけき春の海原　岡山　西村晃子
往來する船も長閑にはしる見ゆ鏡の如き春の海原　函館　安藤富美子
帆を風に孕んで走る春の海舟路遙かに小島見えつゝ　麹町　田村かれ子
ゐなからにみおろす春の海原は白ほ小舟もかすみかくれに　吳　竹入勇子

雜咏秀逸

牛を追ふ子等の姿もわかぬまで霞みてくるゝ里の夕くれ　函館　安藤富美子

同佳作

婢女も掃木片手にたゝずみてきくや椿の露の聲　岩代　西山佐保子
ちりはてし梅のこずゑにうぐひすのひねもす今日もなきあかす哉　横濱　後閑らく子
夕かすみ花よりさきに立てこめて竹屋の渡人かけもなし　赤坂　清水まつ子




鶯の聲に目さめて出て見れば園生の梅のほころびにけり　備中　林秀子
家にありて針もつ手さへつめたきを沐雪ふむ宵とおもひやらるゝ　三重　北野聖米子

應募俳句　鳴雪翁選評
―春季雜詠―

天　大阪　彌生子
牛引いて出る朝や花曇り
（評）炭賣る郷も遠からす

地　横濱　上杉らく子
畑打の後を通る女哉
（評）畑打たれてびつくり

人　福井　三谷貞子
人はみな伊達の薄着や江戸櫻
（評）風邪聲の長唄など

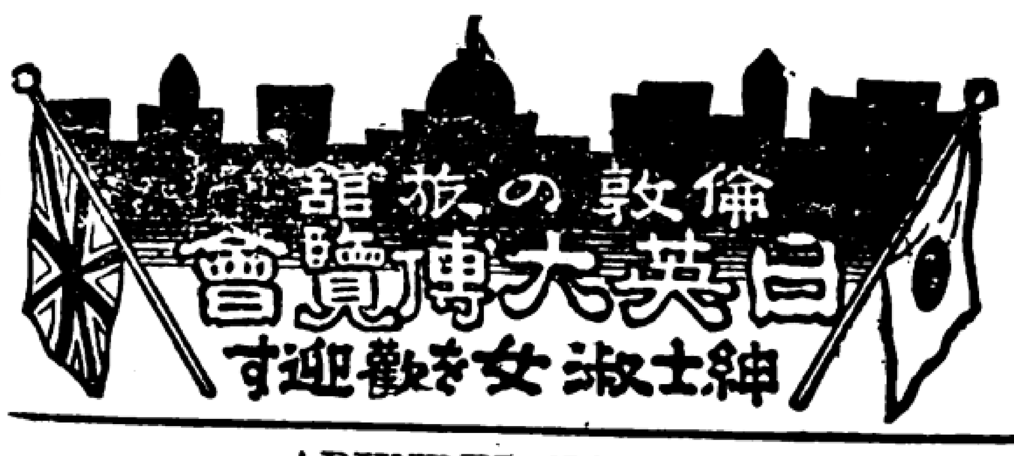
秀逸

小夜更けて雨となりけり朧月　備後　世羅龜子
しばらくは雁も聞きけり梅の花　同　同人
高砂の松は老いたり干大根　同　同人
春の夜の夢は破れて鵯の聲　同　同人
嬉しさは雪に積みたる若菜籠　石川　白藤子
守ありや霞む尾上に鐘ひゞく　岩代　長谷川よしの子
消え殘る谷間の雪や雉子の聲　同　同人
鶯の聲に藁打つ山家哉　福井　三谷貞子
梅ちる里の流のいくまがり　同　同人
打たんとて畑一廻りしたりけり　大阪　彌生子
桃が根や翅納ふ鷄の日向ぼこ　横濱　上杉らく女
紙提けて茶によばれけり桃の花　福井　入木貞子
搔きよせた塵にも桃の落花哉　同　同人
梅の香に尋ねあてたる古社　鹿兒島　鮫島いた子
自轉車で一番駈けや梅の里　芝　中限富士子
ぬぎすてしわらぢの上に春の雪　横濱　後閑らく子
梅か枝をかざして行くや姉妹　吳市　竹入勇子
うす〳〵と山横たふや朧月　宇都宮　田中照子
牛牽て戾る僧あり朧月　備後　妹尾常一
我影は夢幻しか朧月　同　同人
此里に俳人多し桃の花　同　同人
打つれて都に入るや春の人　福岡　許斐文子
紙蒲團かけて姐雛の春寒し　同　同人
灯ともすや春また淺き京の町　みどり子
亡き姉の針も集めて供養哉　陸中　照井美佐子
針供養日は西山に傾きぬ　同　同人
針供養殿元來の高笑ひ　同　同人
草萠や馬に櫂飼ふ畑の人　美濃　酒井績子
濃さびし小梅の里の雨の宿　同　同人
此亭は梅の中にて砂地なる　深川　松丸ひろ子
子牧者の羽化粧して春の宵　同　同人
明け殘る月の寒さよ梅の花　神奈川　森田田鶴子
碑の文字もさだかに見えて山櫻　同　同人
要もなきさかなも買ひぬ霽の朝　佐賀　小林龜子
いさゝかな素焚きも樂し梅の花　芝　小山秀茂
うたゝ寢の何ほゝ笑みて春の人　三重　佐々木らく子

▽三月七日（月）晴　伏見宮殿下日英博覽會名譽總裁として英國へ御差遣の事に決定
▽同　八日（火）晴　久邇宮殿下御歸朝の御披露會を催さる
▽同　九日（水）曇　東伏見宮殿下鎌倉より御歸京◎久邇宮同妃兩殿下露獨伊大使夫妻御引見◎北白川大妃横須賀御成り水雷學校水雷發射實況等御巡覽の上御歸京◎伏見若宮同妃兩殿下西班牙皇室の優待を受けられたるに對し　聖上より御謝電あらせられる、◎第二回四分利公債一億圓借替發行決定但し最低價格百圓に付き九十五圓以上申込保證金五圓締切期日四月十一日◎安重根の死刑執行日來る二十五日と内定す
▽同　十日（木）晴　北白川宮殿下、閑院中將宮殿下御參内◎久邇宮東伏見宮妃兩殿下新濱御獵地に成らせられ畏き邊より韓大公使同夫人に鴨御獵の御招待あり◎陸軍紀念日
▽同十一日（金）東伏見宮妃殿下逗子に成らせらる◎村雲尼公村與婦人會横濱支部第二回總會に臨ませらる◎故佐々木侯十日祭に對し　兩陛下より御下賜品あり各宮殿下よりは夫々御代拜を賜はる
▽同十二日（土）曇　久邇宮殿下より今回南米に渡航する生駒艦長に對し御陪御下賜◎日白常設博覽會陳列の爲め我帝室より白國帝室へ料紙文庫硯箱一組陶器花瓶一個御贈進相成たり
▽同十三日（日）晴　富美宮泰宮兩内親王殿下沼津御用邸に皇后陛下の御機嫌を奉伺せられ即日御歸京◎竹田宮妃殿下鎌倉御用邸より葉山に成らせられ東宮殿下に御對顔◎韓太子殿下小田原より御歸邸◎昨十二日常磐沿岸に暴風雪あり漁夫二千人遭難内死亡者五百餘名
▽同十四日（月）晴　竹田宮妃殿下鎌倉より御歸京◎故税所陸軍中將に對し特に祭粢料御下賜の御沙汰あり
▽同十五日（火）晴　伏見宮殿下御渡英の留別會御開催◎久邇宮殿下故賀陽宮殿下の百日祭御參拜の爲め京都に向はせらる◎竹田宮同妃兩殿下新濱鴨御獵地に成らせらる◎畏き邊りの御沙汰に依り諸外國使臣及宮内省外交官は新濱御獵地にて鴨獵を爲す◎軍艦生駒南米に向ふ
▽同十六日（水）晴　英國皇后陛下日英博覽會協贊會◎名古屋共進會開會
▽同十七日（木）晴　伏見若宮同妃殿下が佛國大統領より歡待を受けられたるに付　兩陛下より同大統領へ御謝電あり◎彼岸入
▽同十八日（金）晴　皇后陛下田子浦に御成◎外國人土地所有權に關する法律案衆議院を通過す



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN




ARUNDEL HOTEL,
Victoria Embankment, London, W. C.

當館は地下電車乗場に接近し日英博覽會場へ數分の間に達する事を得、第一流の劇場に近く寢室壹百、圖書室、喫烟室、球突場等完備す眺望は雅なり。

英國倫敦　アランデル　ホテル

CHARING CROSS HOTEL,
Strand, London,
電信宛名 "Banqueting, London.,

本館は倫敦第一流の旅館にして市の中央に在り鐵道及電車に近く遊覽見物に至便寢室三百五十電話各室に通す、圖書室喫烟室遊戯室海水浴室等完備す。

英國倫敦　チヤリーング、クロス、ホテル

MARBLE ARCH HOTEL,
Hyde Park, London, W.

當旅館は著名なるハイズ公園に接近せるが故に眺望雅絶且つ健康上尤も好し。劇場其他名所古蹟見物に至便なり。室七拾五尤も美觀を極む。旅客送迎の爲め馬車を備ふ

英國倫敦　マーブル、アーチ　ホテル

QUEEN'S HOTEL,
Upper Norwood, London, S. E.

本館は日英大博覽會場に接近せる大旅館にして見物に至便なり宿泊料低廉、食事中奏樂す各室清潔にして美觀を極む

英國倫敦　アッパーノルウード街、クヰンス　ホテル

MANCHESTER HOTEL,
Aldersgate St., London, E. C.

弊館オルダースゲート停車場に接近し且つ日英博覽會場へ直行し得らる日本紳士淑女に對し特に割引し一日分約三圓と五圓の二極とす食料附

英國倫敦　マンチエスター　ホテル

サッカレー　ホテル
THACKERAY HOTEL,
Great Russell St., London.

キングスリー　ホテル
KINGSLEY HOTEL,
Hart Street, London.

弊店は禁酒旅館にして中央停車場へ三分間にて達する事を得宿泊料は至極御手輕に取扱可申候

SALISBURY HOTEL,
Salisbury Square, Fleet St., London.
電信宛名 "Salisbury Hotel, London.,,

快適なる談話室、應接室、圖書室其他旅客を慰藉する設備は全し
一日の宿泊料（食料其他一切）約五圓以上
當旅館より五分間にして劇場其他著名なる場所に達することを得

英國倫敦サリスベリー、スコーア、フリート街
サリスブリーホテル
電話三八一九番（セントラル）
電話七三一番（シチー）

世界の新聞雜誌廣告取次は日本では唯一神戸の
東洋廣告取次會社

美！美！美！

眞に理想的の美顏料として目下世界到る處の貴婦人令孃間に盛んに賞用せられつゝある佛國シモン會社製美顏用

シモンクレーム

は必ず色を白くし、きめを細かに艶を出し而かも顏や手足のあれし時、髯剃りし後、ひゞ霜やけ等に對して他に卓越せる無比の美顏劑なり

日本代理店　横濱市七十番
エー、ハイム商會
（各地化粧品及小間物店にあり）

色白く艶をだす（大形廿錢　小形十錢　新小角十錢）

松澤ホーサン石鹸

●近來類似品あれば御買求の節は上部の商標に御注意を乞ふ○市内賣薬小間物化粧品店にあり

東京本石町四　松澤常吉

金銀盃類

貴金屬寶石美術品袋物一切何品に依らず迅速と廉價を旨とし誠實に新調又は改作の御用相勤め可申候間何卒一層の御引立を以て多少に不拘御下命被下度奉願上候

宮内省御用達　玉寶堂
電話下谷 特九六五番 一二四四番

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂　持阿彌

醫院案内

腦神經精神病科
東京龜戸町　電話浪花二五五二
加命堂腦病院

本郷御茶の水
順天堂醫院
院長　醫學博士　佐藤進
外科、婦人科、泌尿科
内科、小兒科、皮膚科
各科專門博士學士分擔
病室增築入院隨時
電話下谷　三六九番　三七八　三、〇三九番

◎產科婦人科
芝明船町十九虎門外
電話新橋三三二四番
櫻井克巳

岩佐病院　日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六七九番）
診察時間　自午前九時至正十二時
内科婦人科　院主　岩佐純
内科　院長　ドクトル　岩佐新
外科　醫學士　山村正雄
產科婦人科　醫學士　西村漸
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

東京神田美土代町三丁目十七番地
内科一般　午前宅診　午後往診　板垣亨
增築落成　電話本局貳千九百七十番

◉院長ドクトル木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話新橋二六七〇）
婦人科產科木村病院

產科婦人科專門
淺草區左衛門河岸
電話下谷一〇二八
診察毎日午前　入院隨時
岩田病院

院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前窮者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤
電話本八八八（病院用）八九八（私宅用）
東京神田區駿河臺鈴木町二（御茶水橋畔）
院長　醫學士　高田畊安
内科　東洋醫院
神奈川縣高座郡茅ヶ崎村濱（停車場所在）
南湖院　電話茅ヶ崎二番
河野副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後〇同時窮者施診
副長診察月、火、水、木、金、土、午前
〇入院診斷後隨時應需

產科婦人科小兒科　女醫　鷲山彌生
診察時間　院長　毎日午前八時より　醫員　毎日午後三時より
内科部長　醫學士　武智基造
診察時間　火木土午後壹時より
病室及產室の設けあり入院隨時
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院　電話番町二二五七

院長　醫學博士　榊順次郎　婦人科產科毎日午前診察
副　醫學士　久保徳太郎　婦人科的外科（外國留學中）
副　醫學士　田代謹二　婦人生殖器病泌尿器病及内科
●施診火木土午後一時至二時（婦人科一般火木土午後診察）
麹町區三番町三三（電話番町三九五）
婦人科產科　榊病院

小兒病診療　往診午後　宅診午前
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
醫學士　内田愼太郎
（電話下谷七一八）



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

今流行の
首卷ショールは
アラスカ
まつかぜ織の二種

今流行の
半ゑりは
神田赤のれんに限る

本店東京神田區表神保町壹番地
電話本局二千八百五十三番
出店 新橋博品館階上



資本金千八百萬圓

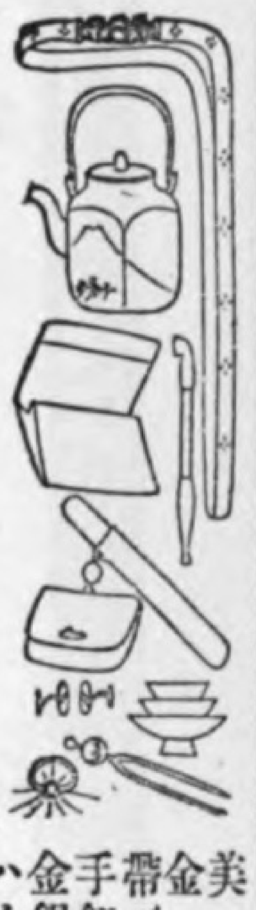
東京京橋區木挽町
株式會社十五銀行
電話新橋 三三〇〇番 一五三〇番 三一九三番

同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇八番

一定期預金 六ヶ月以上年五分
一當座預金 日歩七厘以下
一特別當座預金 同 壹錢



〇ヒスイ
〇ハイカラ
應用金屬裝身具
銀細工品



(何處迄も日本趣味を保持し目新らしきもの種々有之候)

美術袋物類
金屬煙管類
帶〆、指輪、簪、
手釦、胸針、襟止
金銀茶具盃類
ハイカラ銀器類

…袋物仕立並に金銀細工致候…

新橋際銀座通
佐竹商店
(電新千三十一)



小兒科專門
西川醫院
本所緑町一丁目卅一
南わり下水際
電話浪花三〇七三番



本月限り入會金を全免す!!!

新學期開始

會員には雜誌家庭を無代進呈す

女子大學講義

▲本購義は每號雲上賢き邊に奉獻すべき光榮を有せり
▲入會至極簡便にて其學科は女子大學家政科に據る
▲本講義は文章平易假名付なれば何人も容易に讀み得
▲講師は悉く女子教育に經驗ある博士大家の筆に成る
▲通信教育は簡便なる勉學方法にて家庭の婦人に適す
▲全學期を修めば十八册の百科全書を備はせるに等し
▲本講義は石の如き基礎の上に立ち中途發刊の愁なし
▲會則は往復ハガキにて御申込次第に無代進呈すべし
▲會費一ケ月僅に五十錢也
▲會員優待す直に入會あれ

東京小石川區久堅町百八番地(電話番町九三二)
發行兼申込所 精美堂



和洋裁縫各科募集

本校教員養成科は文部省裁縫科檢定試驗を受る事を得
本科は來四月許入學尚各科每月募集

東京麴町區飯田町九段中坂上
文部大臣認定
私立 和洋裁縫女學校
(電話番町千九百七番)

二枚櫛

目下東髮界に持て囃されつゝ有る割れたる珍奇の貝類を巧妙に取合せ調製したる二枚櫛並に中差簪等種々取揃申置候

世界流行の中心たる佛國巴里の交際場裡に於ても目下最も流行しつゝある季節向の東髮用
タボ櫛
三枚櫛
リボン
フローチ
等種々新着仕候間御光來の程奉希上候

尚御持古しの小間物交換仕べく候

東京市神田須田町(電話本局二〇七六番 振替口座二八一番)
鼈甲小間物商 三井屋徳次郎
京橋區新橋際 博品館內支店
神田裏神保町 東明館內支店



都足袋粹乃友

〇小僧入用
十三四才の者 數名
但し市内に保証人ある者に限る

都足袋は外觀上品にして踵に縫目なく衣服の裾を傷ふ憂ひなく且つ製作に最も注意を拂へり故に其の履き工合最もよろしく特に都人士の評判よろし

(地方よりの注文は代金引替小包拾足以上は送料自店持にて御送附可申上候)

三越呉服店裁縫所
東京日本橋區室町三丁目
龜屋足袋店
電話本局一七二一番
振替口座東京一二三三四六番



御春衣新柄品揃
(大)
振替口座大阪五五二七番
御入用之品多少とも御申付下度候
御注文物等は至極入念迅速御調製可仕候
京都四条御旅町
熊谷呉服店
長電三五番




Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
電話本局四九八番
定期預金 六ヶ月 年四分五厘
當座預金 百圓に付日歩 五厘
特別當座預金 同日歩 九厘

家庭娛樂の新著
京都師範學校教諭 木内菊次郎著
圖畫應用 紙細工
菊判美麗插繪入 價五十錢 郵稅八錢
◎本書は兒童の最も快樂とする圖畫と手工とを巧みに應用し紙細工の法を說明す
◎折紙細工 織紙細工 組紙細工 切貫貼付細工 紙捻細工其他滿載す
◎家庭に於ては教育的娛樂となり又學校に於ては手工教材たり
▲實用花むすび 木内菊次郎著(價五十錢 郵稅六錢) 子女に清新なる娛樂と智識を與ふる名著
▲折紙と圖畫 木内菊次郎著(價卅五錢 郵稅六錢) 理論と實際とを明細に圖解說明せる新著
東京京橋南紺屋町 實業之日本社

四月一日より
新製品陳列會開催
○今樣源氏振模樣圖案陳列
○三都舞振人形陳列
○活動玩具各種陳列
寄せ切見切反物大賣出し
四月十日より
五月幟武者人形陳列
東京日本橋
白木屋呉服店

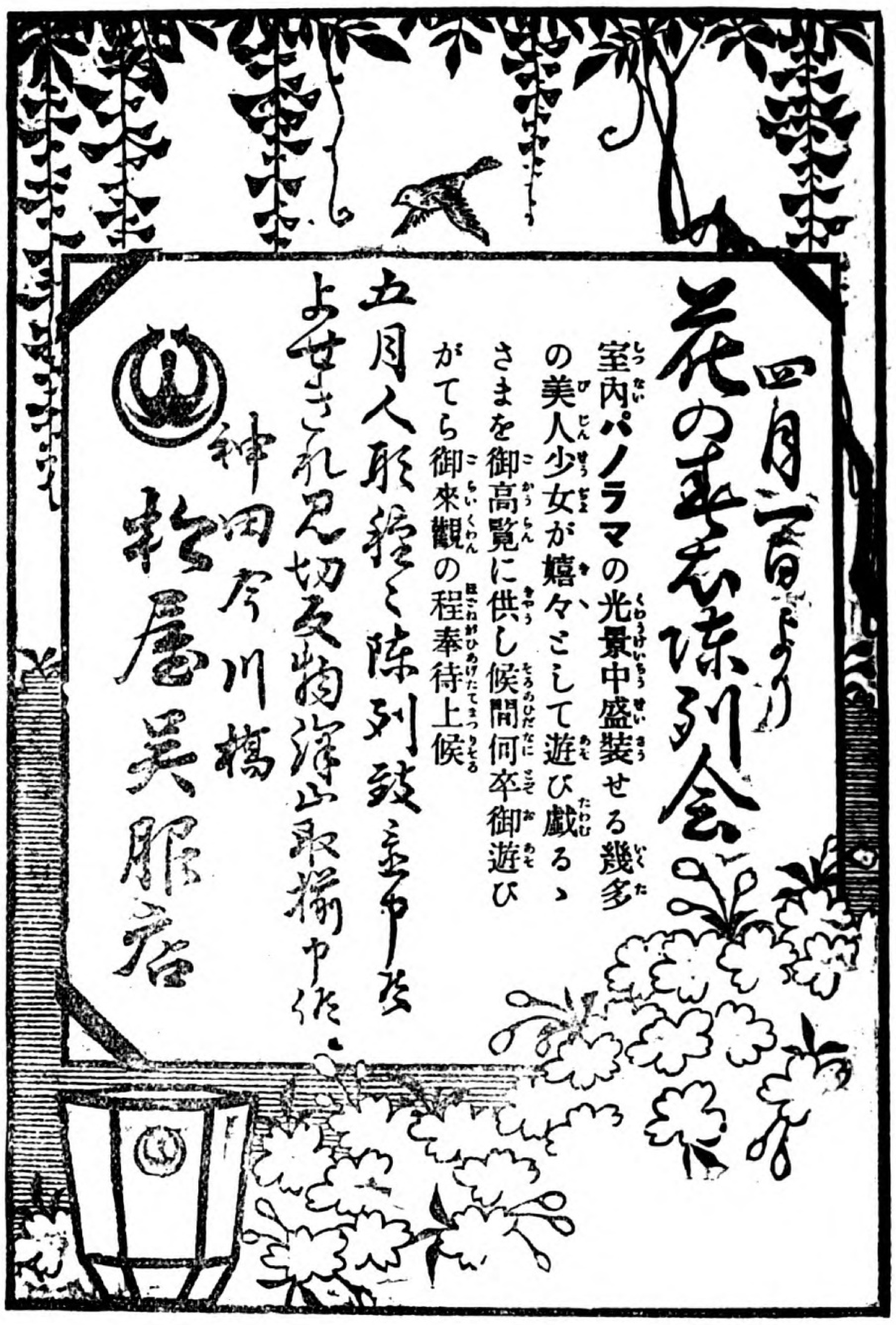
御羽織紐
常節帶〆
其外組糸一式
東京日本橋今川町
[illegible]竹組糸舗
電話長一五一二
振替貯金一二八五六

(注意)
近來類似品を販賣する者あれば御買求の節は右瓶の形狀及び一頭の麝香獸に御注意を乞ふ市内賣藥小間物化粧品店に於て販賣致し居り候
麝香獸印 大瓶 壹圓 中瓶 六十五錢 小瓶 二十五錢
ムスク香水
芳香の永く保つ點にて高評也
東京日本橋本石町四
松澤常吉

婦人世界
四月一日發行 △第五卷第四號 一部郵稅共拾六錢五厘 △半年分増刋共七冊前金壹圓五錢
▲外國人と舞踏した私の實驗 村井久子
▲大岩を切拔き石の旅館を造る 高橋峯吉
▲五人の子供を養育し卅年勤續したる女教師 三橋傳藏
▲良人の戰死後三十歲で入學 渡邊花子
▲婦人參禪の實驗…川北繁子
▲白痴の教育實況を見る 記者
◎花見には如斯功能あり(都も鄙も盛んなる花見の利害は如何興味不盡) 村井弦齋
◎我輩の感心したる婦人(世界の大偉人が最も敬服せる婦人は誰ぞ) 大隈伯爵
◎露艦に襲はれたる佐渡丸遭難實話(海上に漂ふこと二晝夜隱れたる大悲劇を見よ) 豐高驛長
◎痔病に苦しみし私の實驗(男子よりも婦人に多き痔疾全快實驗談を聞け) 村井弦齋
▲親の不注意から愛兒を殺した實驗
▲天下一品弦齋夫人の料理談
▲生死不明なりし良人より無事の電報に接した時 豐高梅子
▲古今文藝談 ▲通俗學藝欄……
▲猩紅熱は恐しき病氣にあらず…加藤博士
▲婦人向慰み懸賞募集
發行所 東京京橋南紺屋町十二番地 實業之日本社 郵便振替貯金口座三二六番 賣捌 全國書店



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN




最新刊

東京高等師範學校訓導　朝倉政行先生著

**子供のため**
一名、小學兒童保護者の心得

菊判全一冊
紙數百七十頁
定價金五拾錢
郵税金六錢

本書は、小學校へ通ふ子供の世話の仕方に關する、種種の事柄を、平易に書きて、家庭の讀物に供し、家庭と學校と相待ちて、敎育の効果を全からしめんことを期し、傍ら、初等敎育の實務に從事せる人人の參考に供せんが爲めに、出版せるものなり。

東京京橋南傳馬町　振替口座二八〇九　**目黒書店**

此の良人はいたづら小僧の兄なり
佐々木邦譯▲新刊▼價四拾錢郵税四錢
**當世良人氣質**

原著者も譯者も當今知らぬ者無き『いたづら小僧日記』と同じい滑稽と諷刺は實に其の獨擅場奇想奇文愈出でて愈よ人を驚かす當世の良人氣質と細君氣質を活現して妙絶奇絶其面白き事いたづら小僧にも優る眞個是れ文壇希有の奇書珍書

**當世細君氣質**
▲近刊▼譯者同人　價四拾錢　郵税四錢
此の細君はおてんば娘の姉なり

◎新刊圖書報告◎書目往復端書申込進呈

英國陸軍中將バーデンパウエル編成の少年偵察隊の敎練方法 **少年兵團** ▲價五拾錢　郵税四錢

大屋德城編著◎第三編發行（全部完成） **通信佛典物語** 各冊價參拾錢　郵税四錢宛

ドクトル兒玉修治述▲參拾五錢郵税四錢 **家庭看護法** 附救急療法

涉江保譯纂（最新醫學の健肺法） **通信呼吸器健全法** 定價四拾錢　郵税四錢

横山雄偉編著　偉人研究 **セシル・ローヅ言行錄** ▲定價參拾錢　郵税四錢

森近運平編著　偉人研究 **ジョン・ハワード言行錄** ▲定價參拾錢　郵税四錢

「いたづら小僧日記」譯者　佐々木邦譯　各國 **滑稽小說**（第一編）定價五拾錢　郵税六錢

東京巣鴨上駒込　振替東京三五五　**内外出版協會**

宮内省御用達

最上醬油之元祖

開業貳百六拾六年

釀造元　下總銚子町　**濱口合名會社**　振替貯金口座五〇貳壹番

**最上醬油**

品質優等ニシテ調理ニ適ス

發賣元　日本橋區小網町三丁目廿七番地　**濱口吉右衞門**

釀造元　千葉縣銚子町　**濱口吉兵衞**




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九 博報社
京橋區宗十郎町一七 正路喜社
日本橋蠣殼町三ノ十一 大興社
京橋區南紺屋町一一 星社
神田須田町廿七 金蘭社
京橋區 廣告社
下谷區御徒町一ノ三九 三櫻堂


風味ありのみ
越後名産

●御進物用最も宜し

定價
並等品 一個 金五錢
上等品 同 金八錢
優等品 同 金十二錢
特等品 同 金十五錢
(外數種あり)
箱詰入 金一圓二十錢以上
御進物用 金二圓二十錢迄

東京市牛込區山吹町十番地
越後名産梨果專門
卸小賣 二葉商店
(江戸川電車終點矢來交番の中央)

●市内は一圓以上御需めの方へは御一報次第直ちに配達可致候

▼全國各藥店にあり

皆様(みなさま)
今日(けふ)もまた
丈夫で元氣で
心から愉快に
「暮す様」
「ゼム」を
今すぐ
召上れ

妾事薄毛にて種々藥を試しも効なく醫博士令夫人より寄藥を得薄毛も濃くなり生へざる所迄毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに三百有餘の禮状を受け不思議のまゝ尚困難者へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ……

東京々橋區前堀一ノ四 河村愛子

# タカヂアスターゼ

●不消化の徴候(醫學)
博士谷口長雄氏曰く『澱粉不消化に因する疾病の重なる徴候は胃の膨滿、疼痛、溜飲、腸内瓦斯蓄積、便秘若くは下痢等にして甚しく營養障害を來す是等の疾病に對しタカヂアスターゼの頗る有効なるを信ず』と

●高峰博士發見の製法に從ふタカヂアスターゼは毎瓶强度一定効力不變なり
是れ普通製法の幾多模造品と異る特長なり眞正なるタカヂアスターゼを得んには必ず高峰博士のタカヂアスターゼと指定せられよ粉末錠劑の二種あり各地に於ける信用ある藥舗にて取次販賣す

●醫學大家の報告を收載せる『タカヂアスターゼ説明書』あり 發賣元東京日本橋室町三丁目三共合資會社へ申込まるれば無代郵送す

# クラブ白粉(オシロイ)

姉妹品發賣
クラブ洗粉の姉妹品として三月中旬より發賣せる新化粧品とは何?
北米の齒磨より優る高等テンチフライス
クラブ歯磨(はみがき)
並に日本白粉界の破天荒の良品
無鉛トイレット
クラブ白粉(おしろい)
との二種
即ち是れなり

にきびをとる有効化粧液
# チプリ
到る所に販賣し升
卅グラム入 二十五錢
東京本石町 松澤常吉

●英語教師志望●
身元確實にして某學院在學中のもの學校の餘暇英語教師を望む御用の方は當發行所内徳富宛御照會を乞ふ

專賣特許名和式テンピン

嘗つて婦人世界誌上に於て弦齋夫人の料理談中其の効用を稱せられたる和用兼用テンピなり
大三圓 中二圓五十錢 小一圓九十錢
東京日本橋區蠣殼町二ノ十五
特許竈 据風呂
名和商店
電話浪花一一七七
振替口座一〇二五四
支店神田和泉橋通松永町十八

季節向最新流行
御半ゑり
種々取揃へ置き申候
# ゑり善
東京日本橋區堺町通ふきや町
電話浪花 千二百七十番


明治四十三年四月五日發行(毎月五日廿日二回)(定價金三錢五厘 一ヶ月七錢郵税不要)發行兼印刷人 山澤俊夫 發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所 印刷所 東京本所區番場町 凸版印刷株式會社分工場



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 附録 愛國婦人會記事

## 本部記事

◎評議員例會　三月二十三日午后一時半より開會、同五時散會す、其の議題は、
一、第九回總會記念品選定の件
二、麹町高等小學校に時計寄附の件
外に報告事項
一、第九回總會準備委員囑託の件
二、教養生採用決定の件
三、內務大臣內示の件

◎第九回總會準備委員は左の如く三月十六日附を以て囑託せられたり。

理事男爵夫人 濱尾　作子　同 三輪田眞佐子
同 棚橋　絢子　評議員男爵夫人 高木　富子
評議員 高木　鏘子　同男爵夫人 關　郁子
同 山脇　房子　同 柳谷千代子
同 古市　孝子　同 鳩山　春子
同 有島　孝子　同伯爵夫人 黑木　百子
同男爵夫人 波多野爲子　同 仁杉　歌子
同男爵夫人 尾崎八重子　同 龜井眞洲子
同 三井五十子　同子爵母堂 丹羽　花子
同男爵母堂 松村　琴子　同 岡田　德子
以上二十名

◎當日の出席人名左の如し。
岡部會長、評議員關郁子、同渡邊源子、同原口關子、同丹羽花子、同三井五十子、同仁杉歌子、同尾崎八重子、同松村琴子、同龜井眞洲子、同柳谷千代子、同高木富子の諸氏。

◎部長の解囑　三月二十五日本部第一部長高松鐵太郎氏は願に依り解囑せられたり。
本月一日從四位三橋勝到氏本部第一部長囑託せられたり。

◎有功賞及謝狀贈與。
福岡支部副長 折原　覺子
同參與 折原巳一郎
右功績に依り一等有功章贈與(三月十五日)
青森市安方町 淡谷と代子
金五十圓寄附に依り七寶銀色製有功章贈與(三月六日)
愛媛支部幹事部長 松田チイ子
同 主事 三宅　芳松
同 事務員 加藤莊次郎
功績に依り七寶製有功章贈與(三月六日)
東京支部幹事部長 源　福子
功勞に依り特別謝狀及扇子一本贈與(三月十五日)
愛媛支部幹事部長 深田　寅子
功勞に依り謝狀及扇子一本贈與(三月六日)
扇子一本　佐賀支部杵島郡北方村元幹事 原　フチ子
木杯一個　同元委員 原藤　一郎
功勞に依り特別謝狀幷に頭書の通り贈與(三月八日)
韓國元山委員部委員 大塚榮次郎　同 渡邊半藏
同 村地富千代子　同 加藤セキ子
同 河村乙女子　同 葭澤セイ子
同 三倉サヨ子　同 宮原イク子
同 高木チカ子　同 大塚　茂子
同 岡崎　梅子　同 鳥居　要子
同 渡邊シカ子　同 中村ノブ子
事務會計取扱 島谷孝信　同 田口　功夫
功勞に依り謝狀贈與(三月八日)
東京市 合資會社 櫻組
生徒用草履袋百袋敎養所へ寄附に付謝狀贈與(三月一日)

◎支部會計決算書到着　三月十一日以降の到着分左の如し

| | |
|---|---|
| 三月十一日着 | 群馬支部 |
| 同十四日着 | 廣島支部 |
| 同十六日着 | 長野支部 |
| 同十九日着 | 岡山支部 |
| 同二十二日着 | 熊本支部 |
| 同　日着 | 佐賀支部 |
| 同二十三日着 | 宮崎支部 |
| 同二十六日着 | 三重支部 |
| 同　日着 | 山梨支部 |

以上
右の內三重支部は好成績なり

## 東京支部

◎小笠原島母島方面總會　當幹事部會員は各島嶼に分離し其間交通不便なるの理由により時々會合の好機なければ少くも年一回は總會を開き本會の大勢を知らしめ大に將來を企圖する必要あり而して總會を開くに付ても總會員を二分し一は父島に一は母島に開くの必要あるを以て父島方面は客年二月開催し引續き母島に於ても開會の計畫なりしも經費不足等の事由により遺憾ながら延期し一面之が事情を支部に上陳し幸に容られ總會費補助金の交附を得たるを以て本年二月十三日をトし母島に於て同島方面會員總會を開催したり。
當日は天晴れ氣麗なりし爲め會員は元氣溢れ朝來會場に集り豫定時刻を待ちて開會當部顧問は幹事部長に代りて皇后陛下より本會に下賜せられたる令旨を捧讀し次て幹事の會務成績報告、顧問の有益なる講話等あり終りて晝餐會場に入り交互談笑の內福引の餘興あり一同歡を盡し散會せり。

▼會費集金廣告▲
自今市內各區の內主任幹事の都合に依り當支部より會費受領の爲め直接集金人差出可申候間豫め御含み置き可被下候也
但し集金者には左の證を携帶せしむ。

支部の
愛國婦人會 東京支部
會費集金者之證
集金者　氏　名
主事認印

會員諸姉御中
愛國婦人會　東京支部

## 韓國委員本部

明治四十二年度事務報告(續)

◎二十一委員部總會及活動寫眞會　本年中に於て總會及活動寫眞を開催したる委員部及參會人員は左の如し

一、總會　五回

| | | |
|---|---|---|
| 清津 | 四月二日 | 參會者四百餘名 |
| 城津 | 同　九日 | 同　二百名 |
| 鎭南浦 | 五月四日 | 同　同 |
| 水原 | 同　九日 | 同　同 |
| 木浦 | 十月一日 | 同　四百餘名 |

二、活動寫眞會

| | | |
|---|---|---|
| 釜山 | 三月廿三、四日 | 同　四百餘名 |
| 清津 | 四月二、三日 | 同　千餘名 |
| 城津 | 同　八日 | 同　七百餘名 |
| 元山 | 同十九、廿、廿一日 | 同二千四百餘名 |
| 鎭南浦 | 五月一、四日 | 同　五百餘名 |
| 水原 | 同　八、九日 | 同　四百餘名 |
| 木浦 | 九月三十日 十月一日 | 同　千二百餘名 |
| 群山 | 十月十一日 | 同　千餘名 |
| 馬山 | 同十九、廿四日 | 同　千二百餘名 |
| 永登浦 | 十二月四日 | 同　二百餘名 |

右總會には本會長の祝電本部長の祝辭委員部長其他來賓の祝辭及餘興等ありて何れも盛會なりき特に活動寫眞會は最初本會に因める幻燈を映寫し通俗的に本會の主旨を說明したる後韓國皇室に關係ある活動寫眞　韓國皇太子東京御留學中の御近況等を撮影して日韓關係の親善なる次第を知らしめ其他興味ある寫眞を觀覽せしめつゝあるが由來韓國舊來の風習として上流社會の婦人は公衆の前に出づるを嫌ひ外出せざる例なるに斯る會合には相伴ふて參會多大なる感興を以て觀覽するにより此事や獨り本會の主旨を普及するに止まらず又兩國婦人間の親和啓發上に資する所少なからざるが如し

◎二十二會員總數　六千二百十五名
內
特別會員　千九百八名
內　韓國人　百十一名
通常會員　三千八百六十五名
內　韓國人　三百五十一名
贊助員　四百四十二名
但し本年度に於て千八十名の增員なり。

◎二十三會計收支總高　本部會計は收支共各科目別に報告書を調製提出して本會の承認を得たるが本年度收入總高を記すれば左の如し。

一金一萬一千九百六十六圓三錢　收入總高
內
金七千四十五圓九十錢　前年度より越高
金四千九百二十圓十三錢　本年度受高
一金四千七百五十八圓四十七錢　支出總高
差引金七千二百七圓五十六錢　四十三年度繰越金
內
五千圓　第一銀行定期預金
金二千二百七圓五十六錢　同　當座預金
以上

▽正誤　前號本記事第二十實施事項末項御母堂樣へ獻上とあるは御母堂大妃殿下へ獻上の誤植。

## 愛媛支部

明治四十二年度事務成績(續)

▽教養生上京　本會第一回教養生として採擇せられたる溫泉郡北條町渡部一美、越智郡瀨戶崎村金子漸、松山市大字南八坂町河合盛經の參名は三月廿一日着京入所したり

▽盲啞學校へ補助　私立愛媛盲啞學校(戰病死者の遺族及廢兵並に其家族の盲啞者をも收容敎育しつゝあり)へ對し別途救護金の內より補助として七月、十二月の兩度に金百五拾圓宛即ち參百圓を支出したり

▽評議員會開催　本會々務の狀況報告等の爲め評議員會を開催したること貳回

▽幹事部會計檢査　本縣々官會計檢査の爲め出張の際左記幹事部の會計檢査を依囑し施行したり
宇摩、越智、上浮穴、伊豫、東宇和、北宇和、西宇和、

▽狀況書呈進　七月二日特命檢閱使子爵川村陸軍大將來松に付支部長始め各職員は送迎をなし且つ支部長は戰病死者の遺族及廢兵に對する救護其他の狀況を詳記し之を呈進したり



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼事務引繼　七月三十一日支部長交迭に付會務財產等引繼の手續を了したり

▼規則制定及改正　一月廿七日本會の指示に基き支部職員給與仝細則仝賞與內規を制定し會長へ報告の上實施したり

會務の活動發展を期せんが爲め十一月四日幹事部以下の經費を醵金百分の拾五（從前は百分の拾）に增額仝月廿五日幹事部以下の總會補助費を會員壹名に付金拾錢且つ右總會の節戰病死者の遺族及廢兵を招待する場合は來會者壹人に付前仝額の補助金を支出することになしたり

△寒中の要件　戰病死者の遺族及廢兵へ對し生業補助と資格外にて貧困なる軍人遺族及負傷兵へ對し救護金贈與の兩件を調査計畫し本會長へ稟申せり

▲會計之部

一金壹萬七千貳百八圓貳拾錢也　醵金總高

內

金百七拾八圓五拾錢　總會部幹事部並醵金控除

差引金壹萬七千貳拾九圓七拾錢　醵金現在高

以上醵集金額を總會員にて除し平均壹人率金八拾五錢九厘に當る

右配當左の如し

金五千百八圓九拾壹錢（百分の三十）　支部經費

金千七百貳圓九拾七錢（百分の十）　部支基本金

金參千四百五圓九拾四錢（百分の二十）　支部救護金

金六千八百拾壹圓八拾八錢（百の四十）　本部納

一金壹圓七拾五錢也　贊助員集金高

右配當左の如し

金五拾貳錢五厘（拾分の三）　支部經費

金五拾貳錢五厘（拾分の三）　支部基本金

金七拾錢（拾分の四）　本部納

一金五拾錢也　徵於再渡本部へ送納

△基本金

前年より越高　五千五拾八圓拾錢

會費步合收入　一千七百參圓四拾九錢五厘

贊成金步合

計六千七百六拾壹圓五拾九錢五厘を翌年度に繰越

△救護金

前年より越高　九千五百八拾八圓四十錢

會費步合　參千四百五圓九拾四錢

本部より受入　貳千五百四圓

計壹萬五千四百九拾八圓參拾四錢

內支出金　參千參百四拾八圓七拾參錢四厘

差引翌年越高壹萬貳千百四拾九圓六拾錢

△經費受入總高　八千參百五拾貳圓五拾參錢貳厘

支出　同

## 新潟支部

明治四十二年度事務成績概要

△會員の增減　本年中入會者は二百八十一人にして退會者百九十一人、差引增加數九十名なりとす。

△職員の異動　會務の擴張を圖る爲め町村受持幹事增員囑託百三十七名あり其他囑託三十三名、解囑七十名。

△定期救護　七月三十日本部配當救護金二千八百六十四圓に支部救護金三百九十六圓を加へ、遺族廢兵百十八人に對し最高額十圓最低額三圓の割合を以て贈與したり。

△臨時救護金贈與　四月二十九日中蒲原郡横越村大字澤海大火罹災遺族一名に對し本會長より金三圓贈與せられたり。

五月廿日韓國守備隊に於ける戰病死者三名に對し支部長より金八圓贈與せり。

八月四日新潟市大火に際し罹災遺族四名へ金二十圓本會長より贈與あり。

九月十三日刈羽郡中通村遺族中特に窮困に陷りしもの一名へ金七圓本會長より贈與せられたり。

△教養所生選出　調査の末遺族子弟三名を推撰三月中入所せしめたり。

△幹事部事業費へ奬勵金交付　六月十九日長岡市幹事部役員の經營に係る遺族廢兵救護基金蓄積の目的たるバチン狀袋作製事業費中に金十五圓を奬勵の爲交付せり

△病院へ慰問品寄贈及遺族廢兵慰問　七月中新設高田衛戍病院に於て患者慰問品募集の擧あるを發し會員及有志の同情を求めたるに娛樂用器具十二點書籍類三千九百六十部繪葉書三百枚寫眞十八枚慰問袋四個及物品料金三十四圓六錢を集め得たるを以て高田衛戍病院及小千谷衛戍病院の二ケ所に寄贈したり、兩病院長より鄭重なる謝辭を受く。

二月中南蒲原郡幹事部に於て郡內遺族廢兵廻訪慰問を企て、四十三年一月に至り十五日間に涉りて實行す（委細は百九十五號に掲載しあり）

△總會其他の集會　五回

一月二十四日長岡市幹事部新年會。

二月三日北魚沼郡幹事部に於ける會務擴張に關する協議會。

四月三日岩船郡幹事部に於ける幹事會七月廿五日中魚沼郡幹事部第三回總會九月十六日刈羽郡幹事部第二回總會。

縣戰病死者追弔會。

## 德島支部

明治四十二年度事務成績概要

▽會員數　本年末當支部現在會員數は特別會員三百六十七人通常會員七千八百五十二人合計八千二百十九人なり之を前年末會員數に比すれば僅に六十七名の增加なるは誠に遺憾とする所なり。

▽會費醵集の狀況　本年度會費醵集金總額は四千三百二十三圓八十五錢にして內金三百七十一圓九十錢は一時出金他は年賦會員の醵出に屬す。

▽支部基本金　本年度の收入は金四百三十三圓八十八錢五厘之に前年度繰越金一千六百二十八圓三十一錢九厘を併せ現在金二千六十二圓二十錢四厘を翌年度に繰越せり。

▽支部救護金　本年度の收入は金八百六十四圓七十七錢にして本部配當の定期救護金一千七百三十五圓及前年度繰越金二千八百四十七圓十九錢一厘合計金五千四百四十六圓九十六錢一厘內本年度支出高一千七百四十三圓を差引現在金三千七百三圓九十六錢一厘は翌年度へ繰越せり。

▽支部經費　前年度よりの繰越金五百七十三圓五十六錢本年度收入一千二百九十七圓十五錢五厘債券預金利子二百四十四圓二錢一厘合計金二千百十四圓七十三錢六厘にして內支出金一千五百六圓七十二錢五厘を差引現在金六百八圓一錢一厘は翌年度に繰越せり。

## 廣島支部

明治四十二年度事務成績

▽會員　本年度內に於ける當支部會員は別紙第一號第二號表の如く（但し表は掲載せず）昨年度より七十六名の減員なるは經濟界の不況と本部に關する流說と並びに共同苗代事件に關する物議の生じたる爲め會務に一頓挫を來たしたるに源因す、蓋し支部は勿論各幹事部に於ても熱心に其の善後策を講じつゝあり。明治四十二年末現在會員數は

特別會員二千五百三十五人

通常會員三萬一千八百九十二人

合計三萬四千四百二十七人とす

▽會費醵集　も亦從つて成績宜しからず前年度より二割五步强の減額を見たるは大に遺憾とする處なり。

▽定期救護金　救護の公平を保たむため一市十五郡に對し支部員を派し慰問旁各實際に每戶の現況を調查し本部配當金二千三百七十三圓に支部救護金一千八百四十圓を加へ金十圓及七圓の割合を以て合計五百二十人に贈與せり。

▽職員の進退　囑託二十解職二十二、死亡四、

▽有功章及謝狀　本年中贈與左の如し。

一等有功章　元安佐郡幹事部長　稻垣房子

三等有功章　雙三郡八次村特別會員　熊巳コトヨ子

同　同郡八幡村通常會員　和田トラ子

同　同郡三良坂村同　河野キワ子

謝狀　二十二人

▽遺族及廢兵生業補助の規定を設け會長の承認を經て本年より施行することゝなれり。

▽奧村刀自展墓　故奧村刀自三週忌相當に付き二月十五日眞宗本派本願寺廣島別院にて追弔會を營む。

▽遺族接待　三月九日十日の兩日第五師團管下の招魂祭執行に付き將校婦人會日本赤十字看護婦人會各支部と合同し廣島階行社に於て參拜遺族に茶菓の接待をなしたり。

▽教養生　三名の志願者ありしが內一名出京入所せり。

▽總會　神石郡幹事部は四月二十日油木村に同二十二日福永村に同二十四日小畠村に於て會員總會を開催せしに會するもの約八百五十名盛會なりき。

▽果物獻上　梨本宮同妃兩殿下御歸朝の途七月二十五日嚴島へ御一泊被遊たるに付き御機嫌伺旁果物一籠を獻上したり。

▽事務取扱變更　廣島市幹事部の事務は從來廣島市役所內に於て取扱來りたるが八月十二日以後は幹事部長を置かず直接支部長に於て執行することゝし諸帳簿其他總て支部に合併したり。

## 山口支部

明治四十二年度事務成績

▽執行事務の概況　六月以降本會に對する中傷記事の結果會員中疑惑を抱くものあり日々退會者の現出を見るを以て大に此れが挽廻策に力め幷びに本會主旨を普及せしめんが爲め遂に二十三ケ町村の總會を開設するに至り以て現狀を維持するを得たり。

▽救護費支出　金二十五圓

▽收支金額　前年度繰越金一千四百八十八圓三十錢四厘に本年度收入高を加へ計一萬千二百六十九圓八十七錢三厘內支出額九千八百三十四圓八厘殘額一千四百六十六圓四十六錢五厘を翌年度に繰越せり

▽會員數　本年度入會者總數二百三十一名にして退會者は三百十七名なり又他府縣より轉入者二百二十六名、轉出者二百四十六名。

## 富山支部

去る二月二十五日射水郡海老江村分區に於て第一回總會幷に戰病死者會員死亡者追悼法會を同村大寶寺內にて施行事務員の開會の辭に次ぎ軍人遺族幷に廢兵十一名に對し臨時救護金を贈與し支部長祝辭の代讀ありて總會の式を終り引續き法悼會に移り多數僧侶の讀經死亡者遺族の燒香等ありしが同地方は佛敎の特に盛なる地とて遠近の參拜者多く滿堂立錐の地なきまでの盛況なりき、因に同地にては死亡會員法名掛軸を作り且つ每年一回必らず追悼會を營むことに決定せり。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN